

工事仕様書

工事名称	青葉台第二公園トイレ更新工事
工事場所	三原市青葉台
工事内容	都市公園(青葉台第二公園)の既設公衆トイレを解体し、バリアフリー対応の公衆トイレを新設する。

【工事概要】

- (1) 既設トイレ(撤去)
 - ・補強CB造平屋建て, 延べ床面積4.17㎡
- (2) 新設トイレ
 - ・木造平屋建て, 延べ床面積5.62㎡

準 則	公共建築工事標準仕様書(最新版), 公共建築改修工事標準仕様書(最新版), 建築物解体工事共通仕様書(最新版)に基づき施工する。
-----	--

関係法令等	本工事については, 次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法, 同施行令, 同施行規則・消防法, 同施行令, 同施行規則・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則・労働安全衛生法, 同法施行令, 労働安全衛生規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・石綿障害予防規則・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法・建設工事に係る再資源化等に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則・その他関係法令
-------	--

工事保険等	受注者は, 本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。
-------	--

疑義変更	本設計図書は, 設計の概要を示すものであり, 詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合, または軽微な変更を必要とする場合には, 速やかに監理者と協議し, 監督員の指示により施工すること。ただし, これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。
------	--

提出書類	施工に先立ち, 工事工程表, 仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し, 監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については, 当該商品又は同等品を使用するものとし, 同等品を使用する場合は, 監督員の承諾を受けるものとする。また, 設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
------	---

工 期	本工事は請負契約締結の後, 令和4年11月30日をもって工期とする。このうち検査期間としてこのうち検査期間として13日間を見込んでいます。
-----	---

留意事項	<ul style="list-style-type: none">・本工事は公園を利用しながらの施工を想定している。よって, 公園利用者等へ工事の影響を最小限とするよう, 騒音, 振動及び粉塵等の対策に最大限配慮した施工方法を採用すること。・本工事は, 近隣住民等の安全はもとより, 丁寧な説明と施工により, 関係者の理解と協力を得ながら実施すること。・入札に先立ち現地調査を十分に行ない, 質疑がある場合は入札前に確認すること。
------	--

- 行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- 工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
- 工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要な場合には交通誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。
- 周辺道路の保全及び清掃については、常に注意を払い定期的に清掃を行うこと。
- 工事車両等により周辺の道路を汚した場合は、清掃を行うこと。
- 工事に支障を及ぼす雨水及び湧水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえ、適切に排水すること。
- 第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。また、苦情等発生した場合にはこれに対応すること。
- 要求の確保に必要な仮設は工事に含むものとする。
- 台風等の強風が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。
- 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- 施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- 石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。
- また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。
- 廃石綿等が発見された場合は、建築物解体工事共通仕様書のアスベスト含有建材の除去等に基づき、適切に除去を行うこと。
- その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- 官公署その他への手続きは受注者の負担で遅滞なく行うこと。
- 施工箇所周囲の備品、機器等については、養生及び清掃等を確実に行うこと。
- 図面に明示されていない事項であっても、工事上で必要とされる事は工事範囲とする。
- 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- 配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- 工事完了後、完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小版)を3部提出すること。
- 以下の設計図面は、A3版をA4版に縮小している。(縮小率約70.7%)
- 杭等の図面にない地中工作物が発見された場合は、位置や寸法の記録を完成図書に加えること。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。

青葉台第二公園トイレ更新工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	タイトル、図面リスト		E-01	(電気設備) 配置図	1/100
A-01	建築工事特記仕様書(1)		E-02	(電気設備) 平面図、詳細図	1/30
A-02	建築工事特記仕様書(2)		E-03	(電気設備) 引込柱、分電盤詳細図	1/50
A-03	建築工事特記仕様書(構造関係)				
A-04	付近見取図				
A-05	(更新前) 配置図、断面図	1/200	M-01	(機械設備) 配置図	1/100
A-06	(更新後) 配置図、断面図	1/200	M-02	(機械設備) 平面図	1/30
A-07	丈量図	1/200	M-03	(機械設備) 勾配図	1/100
A-08	建築概要、仕上、建物面積求積表、求積図	1/50			
A-09	平面図	1/30			
A-10	屋根伏図	1/30			
A-11	立面図	1/50			
A-12	矩計図	1/20			
A-13	基礎伏図、断面詳細図	1/30			
A-14	床・土台伏図、小屋伏図	1/30			
A-15	軸組図(X1・X2通り)	1/30			
A-16	軸組図(Y1・Y2通り)	1/30			
A-17	展開図(1)	1/30			
A-18	展開図(2)	1/30			
A-19	(解体建物) 平面図、正面図、側面図、裏面図	1/50			
A-20	撤去図、樹木配置図	1/200			
A-21	仮設計画図(参考図)	1/200			
A-22	(既設建物) 建物概要、平面図、立面図	1/50			

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%
			CH.	CH.				

<p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事名称 : 青葉台第二公園トイレ更新工事</p> <p>2. 工事場所 : 三原市青葉台Y608-233</p> <p>3. 敷地面積 : 1,085.99㎡</p> <p>4. 構造規模 : 木造平屋建て 床面積5.62㎡</p> <p>5. 工事種目 : 建築工事、電気設備工事、機械設備工事</p> <p>6. 別途工事 : 無し</p> <p>7. 調査協力について 本工事は工事中及び竣工後、次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 (1) 公共事業労務費調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等) (2) 完成施設事後調査 (第1次調査)…引渡後概ね6ヶ月後 (3) 完成施設事後調査 (第2次調査)…引渡後概ね1年目頃 (4) かし担保調査…建設工事請負契約約款第4条1に定める期間内 (5) 公共建築物木材利用事例調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等)</p> <p>8. 公害災害防止措置 (1) 工事に際し工事関係者以外の第三者の生命・身体及び財産の危害並びに迷惑を防止するために必要な措置を執ること。 (2) 上記について、「建設工事公害災害防止対策要綱 (平成5年1月12日付け建設事務次官通達)」に基づき実施すること。</p> <p>9. 現状復旧 工事に際し隣接建築物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。</p> <p>10. 主要資材 (1) この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部 (主体的部分を除く) を第三者に請負わせようとする場合は、原則として三原市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。 (2) 主要資材を購入しようとする場合は、極力三原市内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称・所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 (3) 当該工事に使用する砂については、海砂 (県外産を含む) を使用しないこと。</p> <p>II. 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版」 (以下「標準仕様書」という。) による。 図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版」 (以下「改修標準仕様書」という。) による。 (2) 建築基準法に基づく検査 (中間検査含む) が必要な工事の場合、受注者は完了検査 (中間検査含む) 時には、官公署 (建築主事等) が求める検査に必要な書類 (報告書) 等を用意する。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する (2) 特記事項は○印のついたものを適用する ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する ○印と ⊙ 印のついた場合は共に適用する (3) 項目に記載 [] の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 関係法令の改正等により (条項を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。 (5) 材料及び製造等での記載は順不同である</p>	<p>① 一般共通事項</p> <p>② 環境への配慮 (1. 4. 1)</p> <p>③ 材料の品質等 (1. 4. 2)</p> <p>7 技能士 (1.5.2)</p>	<p>化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の1) から4) を満たすものとする</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する</p> <p>2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼン含有量が少ない材料を使用する</p> <p>3) 接着剤は、揮発性 (フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、ジブチルエチルヘキシル等) を含有しない揮発性の可溶性剤を除くが添加されている材料を使用する</p> <p>4) 1) の材料を使用して作られた器具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする</p> <p>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは③又は④に該当する材料を指す。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号) に基づき制定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に調達するよう努めるものとする</p> <p>材料・機材等の品質及び性能 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする 2) 備考欄に記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料の製造所の指定する工法とする 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料 (外部機関が発行する証明書等の写し) を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない (1) 品質及び性能に関する試験データが整備していること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行っていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整っていること (7) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料</p> <table border="1"> <tr><td>床型特製鋼製デッキプレート</td><td>オーバーヘッドドア</td></tr> <tr><td>鉄骨柱下無収縮モルタル</td><td>防水剤</td></tr> <tr><td>無収縮グラウト材</td><td>現場発泡断熱材</td></tr> <tr><td>乾式保護材</td><td>フリーアクセスフロア</td></tr> <tr><td>既成鋼合モルタル</td><td>可動階段切</td></tr> <tr><td>ルーフトレン</td><td>移動階段切</td></tr> <tr><td>吸水性調整材</td><td>トイレフープス</td></tr> <tr><td>アルミニウム製建具</td><td>煙突用成形ライニング材</td></tr> <tr><td>鋼製建具</td><td>天井吊り金具</td></tr> <tr><td>鋼製軽量建具</td><td>床点検口</td></tr> <tr><td>ステンレス製建具</td><td>グレーティング</td></tr> <tr><td>塗料</td><td>壁面緑化システム</td></tr> <tr><td>カラーコーン</td><td>トップライト</td></tr> <tr><td>自動昇降機</td><td>エボクシ樹脂</td></tr> <tr><td>自閉式上吊り引戸機構</td><td>ポリマーセメントモルタル</td></tr> <tr><td>重量シャッター</td><td>既成鋼合目地材</td></tr> <tr><td>軽量シャッター</td><td>鉄線製ふた</td></tr> </table>	床型特製鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア	鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤	無収縮グラウト材	現場発泡断熱材	乾式保護材	フリーアクセスフロア	既成鋼合モルタル	可動階段切	ルーフトレン	移動階段切	吸水性調整材	トイレフープス	アルミニウム製建具	煙突用成形ライニング材	鋼製建具	天井吊り金具	鋼製軽量建具	床点検口	ステンレス製建具	グレーティング	塗料	壁面緑化システム	カラーコーン	トップライト	自動昇降機	エボクシ樹脂	自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル	重量シャッター	既成鋼合目地材	軽量シャッター	鉄線製ふた	<p>1 一般共通事項</p> <p>8 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <p>9 工事写真等</p> <p>10 完成時の提出図書 (1.7.1-3)</p> <p>11 電子納品</p> <p>12 工事中情報共有システム</p> <p>13 施工図及び施工計画書 (1.7.2)</p> <p>14 設備工事との取り合い</p> <p>15 施工中の安全確保</p> <p>16 工程報告</p> <p>17 保証書</p> <p>18 中間技術検査</p>	<p>1) 図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する パッシブ型採取器を用いた測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉 (連り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む) を開放し、30分間換気する ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、連り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする ③測定 イ ②の状態のまま測定する ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること 2) 木材の防霉・防蟻処理等は、クロロピリス、ダイアノジン及びフェノカルボンを含有しない薬剤とし、加工防霉・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する 3) 保温材、断熱材、断熱材については、ホルムアルデヒドを発生しないか発生が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする 4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする 5) 屋内に面して用いる材料は、上記2)～4) に適合した上で、揮発性有機化合物の発生が極めて少ないものを選択するように努め、1) の規定を満たすこと</p> <p>下記のことを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の作成は「建築工事写真作成要領」によるものとする。 (1) 工写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真 (カラー・サービス版) を期間別工事工程報告書に添付するものとする (2) 工事中写真 水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来ない部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、A4版写真帳にまとめて完成検査日まで提出するものとする。【提出部数】: 1部 (3) 完成写真 【撮影箇所】 建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所 【規格・提出部数】 ※A4版クリアファイル 部 ・A4版写真台帳 部 【完成写真の撮影業者】 ・監督職員の承認する撮影業者 (4) その他写真 隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前・施工中の写真 (カラー・キャビネット) を監督職員の指示により提出するものとする (5) 保管 工事写真のネガ・データは、受注者において工事後2年間保管すること ※提出を要する 完成図書: 1部 竣工図の種類 (※全て) 竣工図作成方法 CAD (CADデータの提出 (※要・不要)) 原因 ※普通紙 ・不要 竣工図 二つ折製本 (・A1版 部 ・A2版 部 ・A3版 2部) 竣工図は原則として原因にて修正を行い、竣工図・保金に関する資料で必要なもの提出は監督職員の指示による なお、1) 電子納品で対象工事である場合は、加えて電子成果品を 2部提出すること ・型式台帳 型式台帳は、 が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出すること。 ※電子納品対象工事とする 電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「建築工事電子納品要領 (以下、要領という) 」に基づいて作成されたものを指す 成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること (2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする 広島県工事中情報共有システム (http://ohotatsu.pref.hiroshima.jp/asp/index.html) (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者 (以下「サービス提供者」という) との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする (4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければならない 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする (施工範囲) ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔 ※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材切り込み及び下地補強 ※自動閉鎖装置設置箇所の切り込み及び補強</p> <p>・同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する ・労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」 (任意様式) を提出すること</p> <p>別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること</p> <p>次の工事について保証書を提出すること</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・防水工事</td> <td>・アスファルト防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルト防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合成高分子ルーフィング防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○屋根工事</td> <td>○瓦尺金属板葺き</td> <td>10年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・折板葺き</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・瓦葺き</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防蟻工事</td> <td>・フロリング及び塗装</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ブル工事</td> <td>年</td> <td>・7M・3F以上・FRP</td> </tr> <tr> <td>・塗装 (通常塗装の場合)</td> <td>年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>・活樹</td> <td>年</td> <td>枯死の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>※行う (回数及び時期については監督職員の指示による) ・行わない</p>	工事区分	材料名	保証年数	備考	・防水工事	・アスファルト防水	年		・改質アスファルト防水	年		・合成高分子ルーフィング防水	年		○屋根工事	○瓦尺金属板葺き	10年	漏水の場合等	・折板葺き	年	漏水の場合等	・瓦葺き	年	漏水の場合等	・防蟻工事	・フロリング及び塗装	年		・ブル工事	年	・7M・3F以上・FRP	・塗装 (通常塗装の場合)	年			・植栽工事	・活樹	年	枯死の場合	<p>1 一般共通事項</p> <p>9 設計GL</p> <p>20 耐荷重及び耐外力</p> <p>検査記録</p> <p>※図示による ()</p> <p>外壁ALCパネル工事、外壁押出成形セメント板工事、合成高分子ルーフィングシート防水工事 (機械的固定工法)、外壁石取付け (乾式工法) 工事、屋根葺き (瓦尺金属板、折板、粘土瓦) 工事、アルミニウム製木工事、ガラスブロック積み工事において、施工計画書により工法を定める際の、建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定は次の条件を用いる。 風圧力 風速 $V_0 = m/s$ 積雪荷重 平成12年5月31日 建設省告示第1456号における区域 別表 ()</p> <p>杭地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、鉄骨工事については、次の内容を記載した検査記録を整備すること ・工事完了通知書第4面及び照会方法が確実に行われていることを証明する書類 (ICB (建築行政センター) の「構造審査・検査の運用解説」第6章資料に示す「施工状況報告書等」に記載する内容)</p>
床型特製鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア																																																																													
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤																																																																													
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材																																																																													
乾式保護材	フリーアクセスフロア																																																																													
既成鋼合モルタル	可動階段切																																																																													
ルーフトレン	移動階段切																																																																													
吸水性調整材	トイレフープス																																																																													
アルミニウム製建具	煙突用成形ライニング材																																																																													
鋼製建具	天井吊り金具																																																																													
鋼製軽量建具	床点検口																																																																													
ステンレス製建具	グレーティング																																																																													
塗料	壁面緑化システム																																																																													
カラーコーン	トップライト																																																																													
自動昇降機	エボクシ樹脂																																																																													
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル																																																																													
重量シャッター	既成鋼合目地材																																																																													
軽量シャッター	鉄線製ふた																																																																													
工事区分	材料名	保証年数	備考																																																																											
・防水工事	・アスファルト防水	年																																																																												
	・改質アスファルト防水	年																																																																												
	・合成高分子ルーフィング防水	年																																																																												
○屋根工事	○瓦尺金属板葺き	10年	漏水の場合等																																																																											
	・折板葺き	年	漏水の場合等																																																																											
	・瓦葺き	年	漏水の場合等																																																																											
・防蟻工事	・フロリング及び塗装	年																																																																												
	・ブル工事	年	・7M・3F以上・FRP																																																																											
・塗装 (通常塗装の場合)	年																																																																													
・植栽工事	・活樹	年	枯死の場合																																																																											
<p>特記事項</p>	<p>訂正事項</p>	<p>一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号</p> <p>岡田 建築 設計 事務所</p> <p>一級建築士 第102449号 岡田文夫</p>	<p>JOB NO. DATE</p> <p>CH. CH. DR.</p> <p>2022. 03.</p>	<p>SCALE</p>	<p>TITLE</p> <p>青葉台第二公園トイレ更新工事</p> <p>NAME</p> <p>建築工事特記仕様書 (1)</p>	<p>NO.</p> <p>A / 01</p> <p>図面縮小率</p> <p>A-3 : 100%</p> <p>A-4 : 71%</p>																																																																								

Table with 2 columns: 1. 工事内容 (Construction Content) including items like 足場その他, 監督職員事務所等, 工事用水, etc. 2. 工事仕様 (Construction Specifications) including items like 基礎設計図による, 現場の見えやすい位置に, etc.

Table with 2 columns: 1. アスファルト防水 (Asphalt Waterproofing) specifications including 屋根保護防水, 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ, etc. 2. 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (Modified Asphalt Roofing Sheet Types and Thicknesses) table with columns for 分類・規格, 寸法, etc.

Table with 2 columns: 1. 屋根露出防水 (Roof Exposed Waterproofing) specifications including 防水層の種類, 断熱材, etc. 2. 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (Modified Asphalt Roofing Sheet Types and Thicknesses) table with columns for 種類, 断熱材, etc.

Table with 2 columns: 1. 屋内防水 (Indoor Waterproofing) specifications including 防水層の種類, 断熱材, etc. 2. ケイ酸系塗布防水 (Silicate Coating Waterproofing) specifications including 防水層の種類, 断熱材, etc.

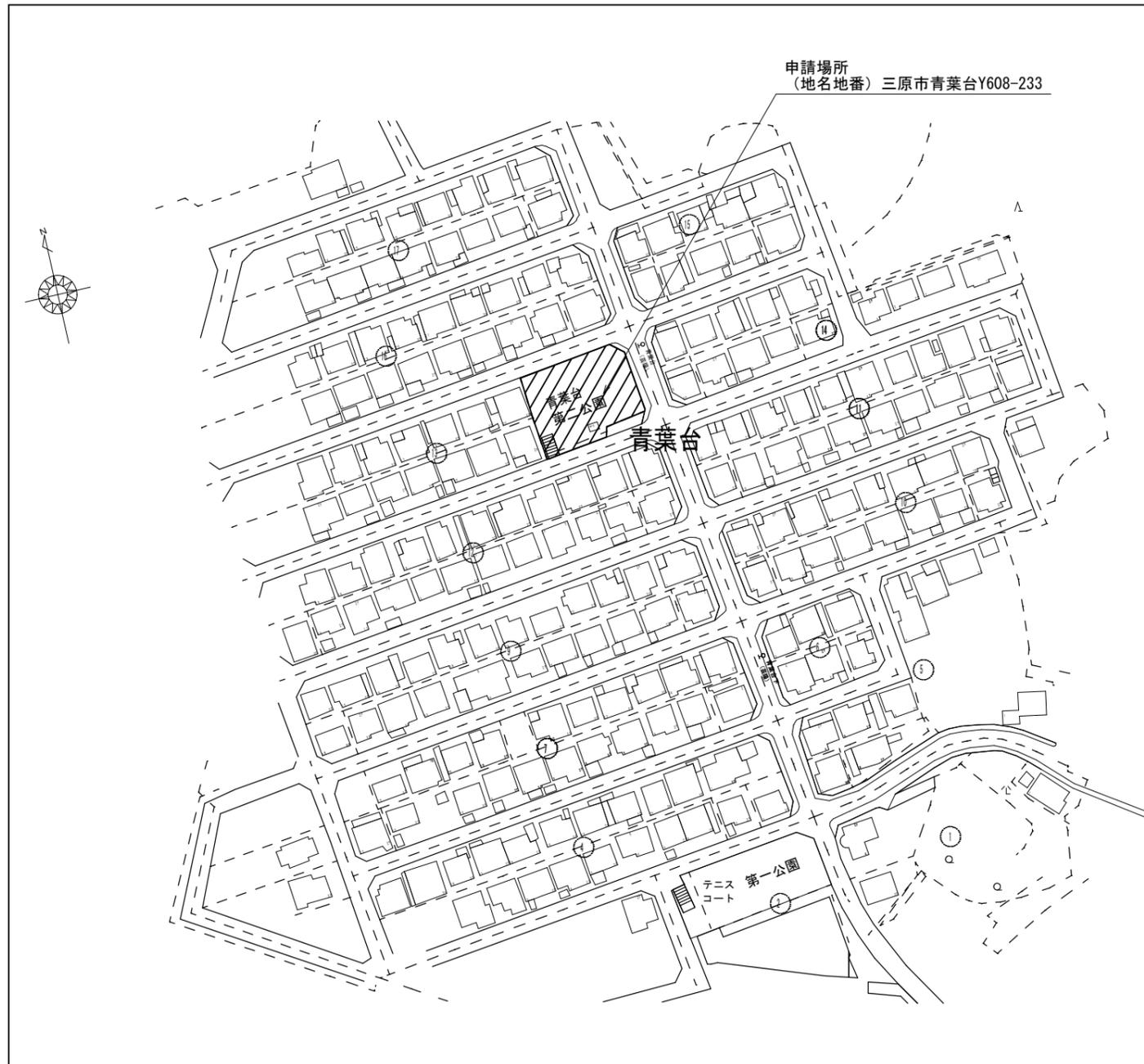
Table with 2 columns: 1. 特記事項 (Remarks) 2. 訂正事項 (Corrections)

一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号
岡田 建築設計事務所
一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB NO. DATE SCALE TITLE
CH. CH. DR.
青葉台第二公園トイレ更新工事
NO. A 02
図面縮小率 A-3: 100% A-4: 71%

特記仕様書(構造関係)		適用範囲		4章から7章までの適用範囲は下記の工事項目とする。 ・特記仕様書1仕様書 1工事概要 3工事項目に掲げる下記の工事項目番号 (番号○～番号○までの工事項目)		
4 地業工事	1 支持地盤等	○直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ※構造図による ・試験掘り(根切り底の状態の確認等) 位置は構造図による ・地盤の平板載荷試験 載荷試験の方法 ※地盤工学会基準 JGS 1521による 試験の位置、載荷荷重 ※構造図による ・地盤調査 スウェーデン式サウンディング試験を行う	(4.2.4)	5 場所打ち コンクリート地業	特定埋込杭工法 (4.4.4) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・() 杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による ・構造図による 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による	
		支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ※構造図による 試験杭 試験杭の位置 (4.2.2) ※構造図による 杭の支持層への掘入れ深さ ※構造図による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・構造図による 杭の傾斜 ・1/100以内 ・構造図による	(4.3.4.5)(4.4.4)(4.5.5.6)		・杭頭を処理する (4.4.6) 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による	
	2 杭共通事項	寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)	工法 (4.5.1) ・アースドリル工法(安定液 ※使用する・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り・行う・行わない) ・回転式 ・掘削式 併用する工法 (4.5.1.6) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK400・SKK490 ・() ・拡底杭工法(安定液・使用する・使用しない) ・()	寸法等 (4.2.2) 杭符号 軸径(mm) 拡底径(mm) 杭長(mm) 継手数 長期設計支持力(kN/本) 備考		
	3 既製コンクリート杭 地業	種類 (4.3.1) ・適心高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490 ・()	寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)	鉄筋の種類 (4.5.4) 種類 呼び名 備考 ・SD295A ・SD345		
4 鋼杭地業	1 鋼杭の材料	鋼杭の材料 (4.4.3) ・SKK400・SKK490 ・()	(4.4.3)	6 砂利地業	材料 (4.6.2) ※再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石	
		寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)	寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)		砂利厚さ (4.6.3) ※60mm ○(100・120)mm	
	2 鋼杭の位置	鋼杭の位置 (4.4.3) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による	(4.4.3)	7 捨コンクリート地業	範囲 (4.6.4) ※基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・意匠図及び構造図による	
	鋼杭の位置 (4.4.3) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による	(4.4.3)	厚さ (4.6.4) ※50mm 設計基準強度 (4.6.4) ※18N/mm ² スラブ (4.6.4) ※15cm又は18cm			
3 鋼杭の継手	鋼杭の継手 (4.4.3) ・アーク溶接継手 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・構造図による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 検査 ※評定等により定められた項目 ・杭頭を処理する (4.3.8) 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ※構造図による	(4.4.3)	範囲 (4.6.4) ※基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・意匠図及び構造図による			
4 鋼杭の継手	鋼杭の継手 (4.4.3) ・アーク溶接継手 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・構造図による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 検査 ※評定等により定められた項目 ・杭頭を処理する (4.3.8) 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ※構造図による	(4.4.3)	範囲 (4.6.4) ※基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・意匠図及び構造図による			
5 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類等 (5.2.1) 種類 呼び名 備考 ※SD295A ※D16以下 ※SD345 ※D19以上	(5.2.1)	6 床下防湿層 (4.6.2) 地盤改良工法 (4.6.5)	材料 (4.6.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・意匠図による	
		2 溶接金網	鉄筋の形状等 (5.2.2) 種類 種類 呼び名 備考 ※溶接金網 ・鉄筋格子		(5.2.2)	
	3 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3) 部位 継手の方法 呼び名 柱、梁の主筋 ※ガス圧接・機械式継手 ・溶接継手 床、壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ○重ね継手	(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)		8 床下防湿層 (4.6.2)	9 地盤改良工法 (4.6.5)
	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	最小かぶり厚さ (5.3.5) ※構造関係共通事項(配筋標準図)表4.1 ・軽量コンクリートを用いる場合 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ・耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm	(5.3.5)		9 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 (6.14.1) ※18N/mm ² スラブ (6.14.1) ※15cm又は18cm 適用箇所 (6.14.1) ※標準仕様書 6.14.1(4)(7)～(8)による ・構造図による	10 流動化コンクリート (6.15.1) 適用箇所 ※構造図による
	5 各部配筋	各部配筋 (5.3.7) ※構造関係共通事項(配筋標準図) ・構造図による	(5.3.7)		11 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 ※標準仕様書6.6.4(1)による ・構造図による 目地寸法 ※標準仕様書 9.7.3(1)(7)～(9)による ・意匠図による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ※意匠図による	12 構造体コンクリートの仕上げ (6.2.5) 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ ※意匠図による コンクリートの仕上りの平たんさ ※意匠図による
	6 圧接完了後の圧接部の試験	試験 (5.4.10) ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験方法は標準仕様書 5.4.10(4)(b)①～⑥による	(5.4.10)		13 打増し厚さ(打直し仕上げ部) (6.8.1) ・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ※20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm ・外装タイル面の打増し処理 ※20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ※10mm・20mm	14 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ※合板 ※12mm ・厚さ ・メッシュ型枠(使用部位 ※構造図による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 ※構造図による) 使用箇所 (6.8.2) ※構造図による ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 (6.8.2) ※構造図による 打増し厚さ 打増し範囲 ※構造図による
	7 機械式継手	適用箇所 (5.5.2) ※構造図による H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2) ※A級 機械式継手の種類、鉄筋相互のあき、施工完了後の継手部の試験、不合格となった継手部への措置 (5.5.2) ※構造図による	(5.5.2)		15 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	16 耐震スリット (6.8.2) ・垂直スリット 幅 ()mm タイプ ※完全・部分 ・水平スリット 幅 ()mm タイプ ※完全・部分 ずれ止めの差し筋 ※D10-400 仕様・目地等 ※意匠図による
	8 溶接継手	適用箇所 (5.6.3) ※構造図による H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3) ※A級 溶接継手の工法、鉄筋相互のあき、施工完了後の継手部の試験、不合格となった継手部への措置 (5.6.3) ※構造図による	(5.6.3)		17 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	18 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	9 コンクリートの種類	コンクリートの種類 (6.2.1) ※I類(JIS A 5308への適合を認められたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)	(6.2.1)		19 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	20 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	10 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	※普通コンクリート (6.2.1～4)(6.3.2) 設計基準強度 スラブ 気乾単位容積質量 適用箇所 (N/mm ²) (cm) (t/m ³) ○24 ・標準仕様書表6.2.2による 2.3程度 構造図による	(6.2.1～4)(6.3.2)		21 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	22 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	11 構造体強度補正值	構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による ・構造図による ・軽量コンクリート (6.2.1～3)(6.3.2)(6.10.1.2) 設計基準強度 スラブ 気乾単位容積質量 種類 適用箇所 (N/mm ²) (cm) (t/m ³) ※21 ・1種・2種 構造図による	(6.2.1～3)(6.3.2)(6.10.1.2)		23 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	24 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	12 構造体強度補正值	構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による ・構造図による	(6.2.1～3)(6.3.2)(6.10.1.2)		25 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	26 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	13 セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 適用箇所() ・フライアッシュセメントB種 適用箇所()	(6.3.1)		27 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	28 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
	14 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A・B	(6.3.1)		29 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	30 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定
15 混和材料	混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・構造図による	(6.3.1)	31 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定	32 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2) 実施要領 ※構造関係共通事項 構-2 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定		

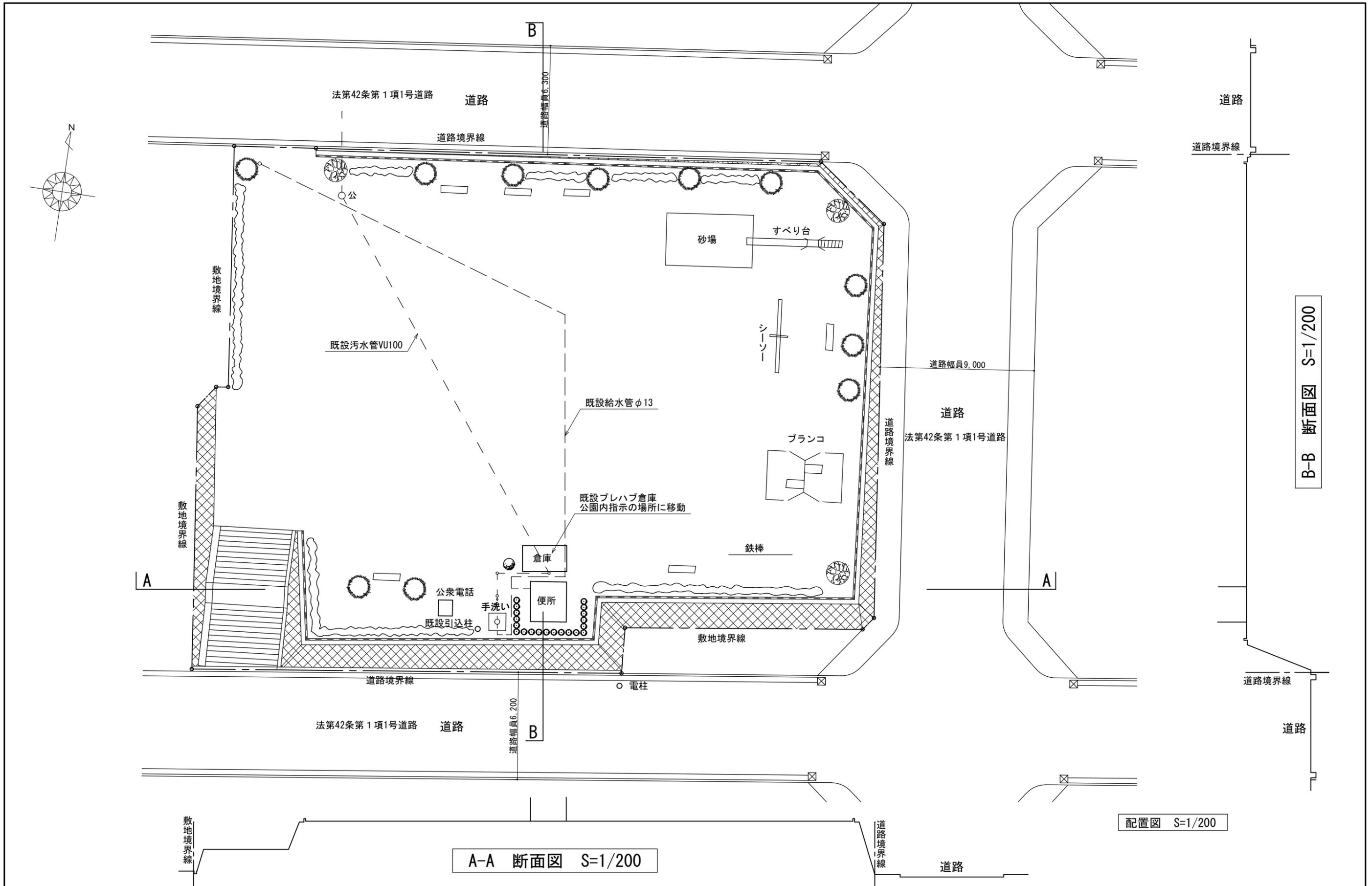
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO. DATE 2022.03.	SCALE	TITLE 青葉台第二公園トイレ更新工事	NO. A 03	図面縮小率 A-3: 100% A-4: 71%
------	------	---	-----------------------------	-------	-------------------------	----------------	--------------------------------



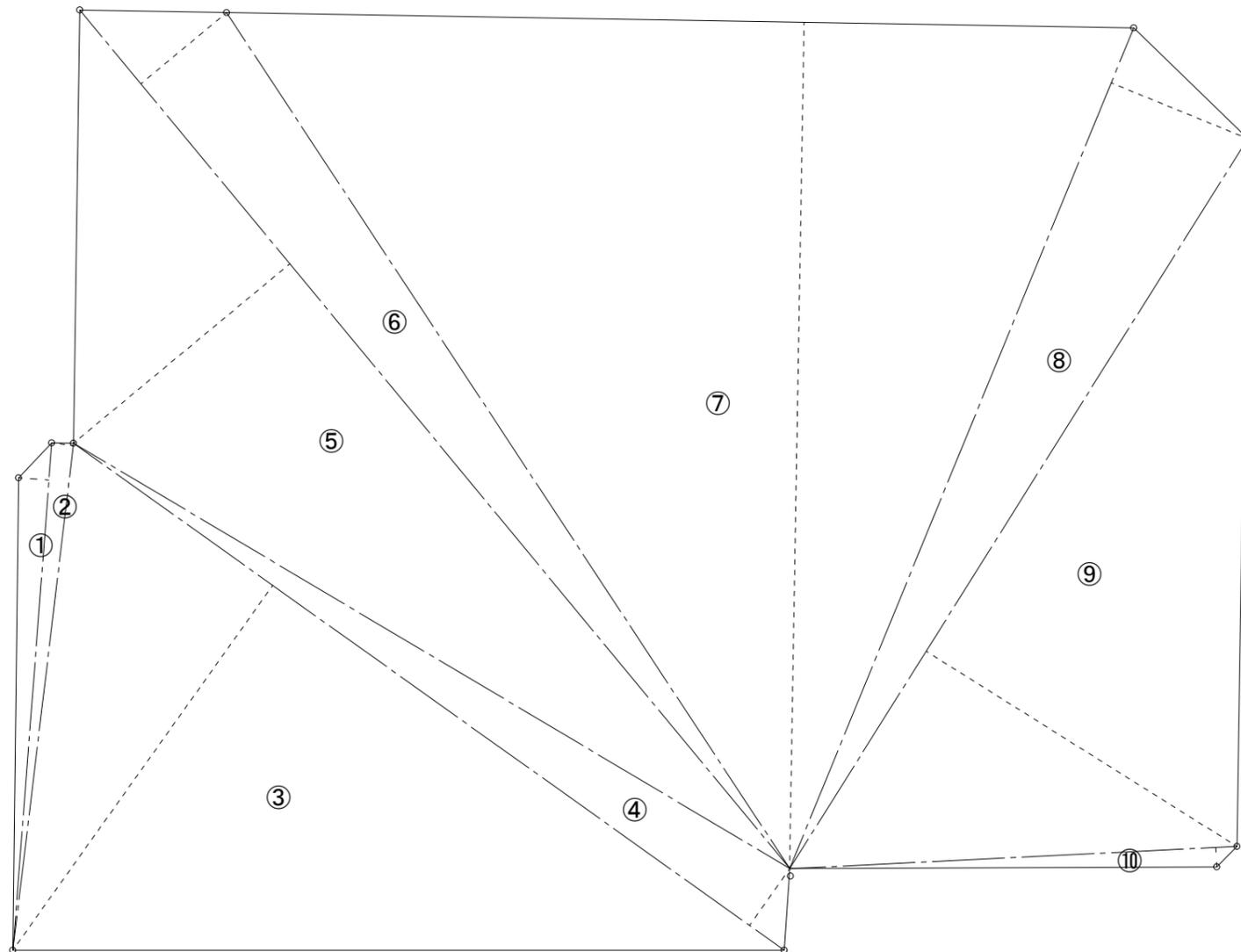
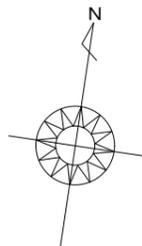
※ゼンリン住宅地図 (forCAD) を加工変更してにより作成 (1122374)

付近見取図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%
			CH.	CH.		DR.		



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号			JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. A 05	図面縮小率
		岡田建築設計事務所			CH.	CH.	1/200	青葉台第二公園トイレ更新工事		A-3 : 100%
					一級建築士 第102449号 岡田文夫			DR.		

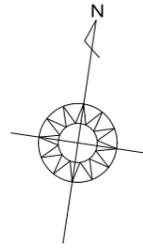


丈量図 S=1/200

敷地面積求積表

番号	底辺	高さ	倍積
1	16.226	0.964	15.641864
2	16.286	0.696	11.335056
3	27.721	14.279	395.828159
4	27.721	2.199	60.958479
5	35.482	8.938	317.138116
6	35.482	3.181	112.868242
7	29.260	27.031	790.927060
8	29.005	4.692	136.091460
9	27.501	11.725	322.449225
10	14.301	0.612	8.752212
合計			2171.989873
二除面積			1085.9949365
面積 (㎡)			1085.99

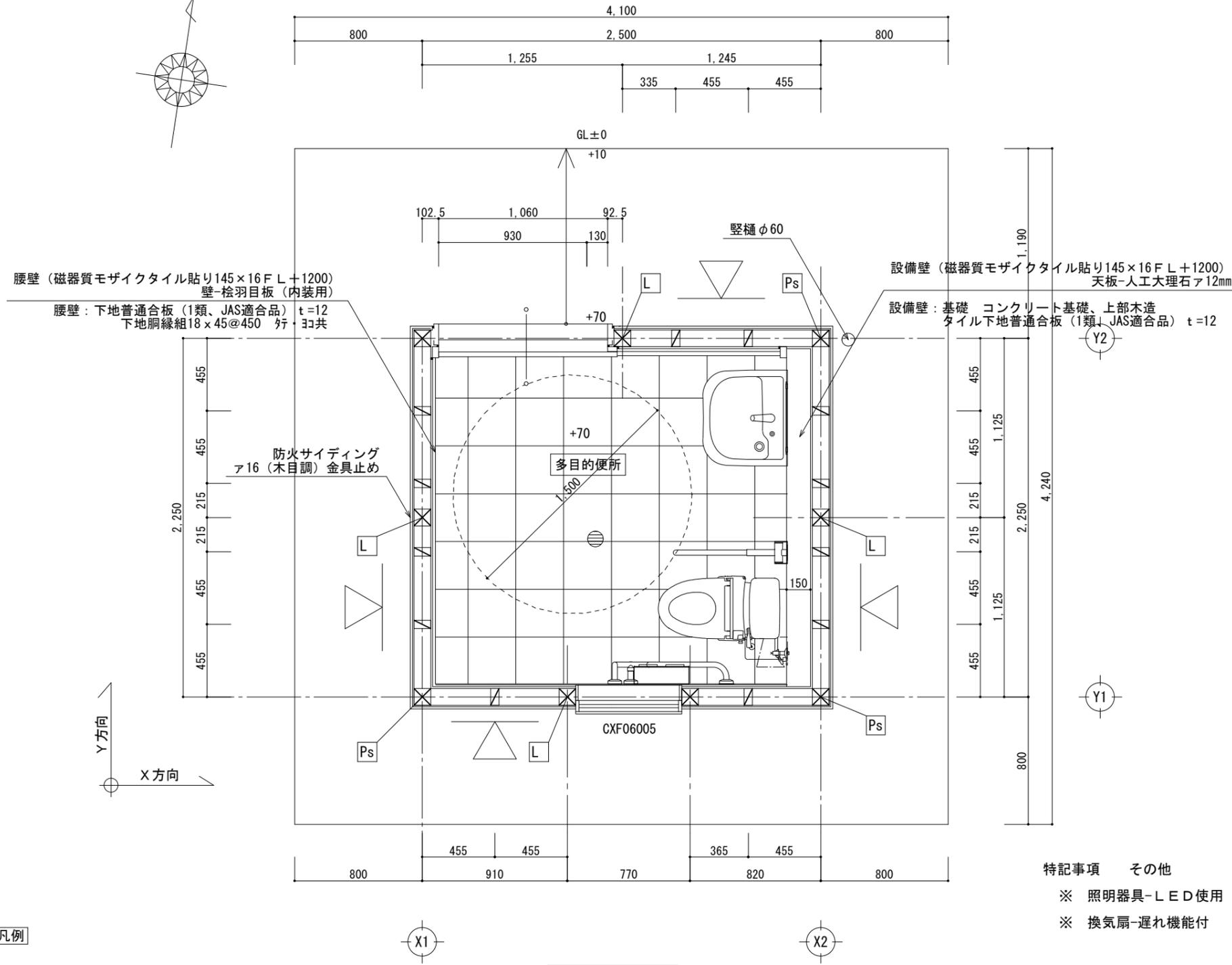
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%
			CH.	CH.				
						丈量図	07	



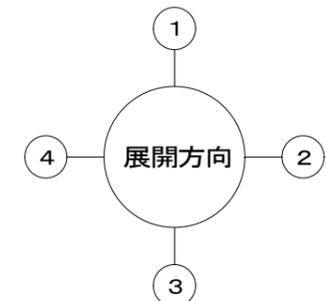
接合金物凡例 (下期金物は柱下部、上部に取り付けるものとする)
特記なき柱はかすがい打ちとする。

①部位	②記号	③仕様	④N値	
柱頭・柱脚 及び 床屋根の接合部	□	い	短ほぞ差し	-
	L	ろ	C P-L	0.65 以下
	N	ろ	長ほぞ差し込み栓	0.65 以下
	V	は	山形プレート	1.0 以下
	T	は	C P-T	1.0 以下
	P	に	羽子板ボルト	1.4 以下
	I	に	短冊金物	1.4 以下
	Ps	ほ	スクリーナ釘併用羽子板ボルト	1.6 以下
	Is	ほ	スクリーナ釘併用短冊金物	1.6 以下
	2	へ	10kN用引き寄せ金物	1.8 以下
	3	と	15kN用引き寄せ金物	2.8 以下
	4	ち	20kN用引き寄せ金物	3.7 以下
	5	り	25kN用引き寄せ金物	4.7 以下
	3D	ぬ	15kN用引き寄せ金物2枚	5.6 以下
	-	-	-	5.6 超

※接合金物の代用金物はN値同等以上のものを使用すること。



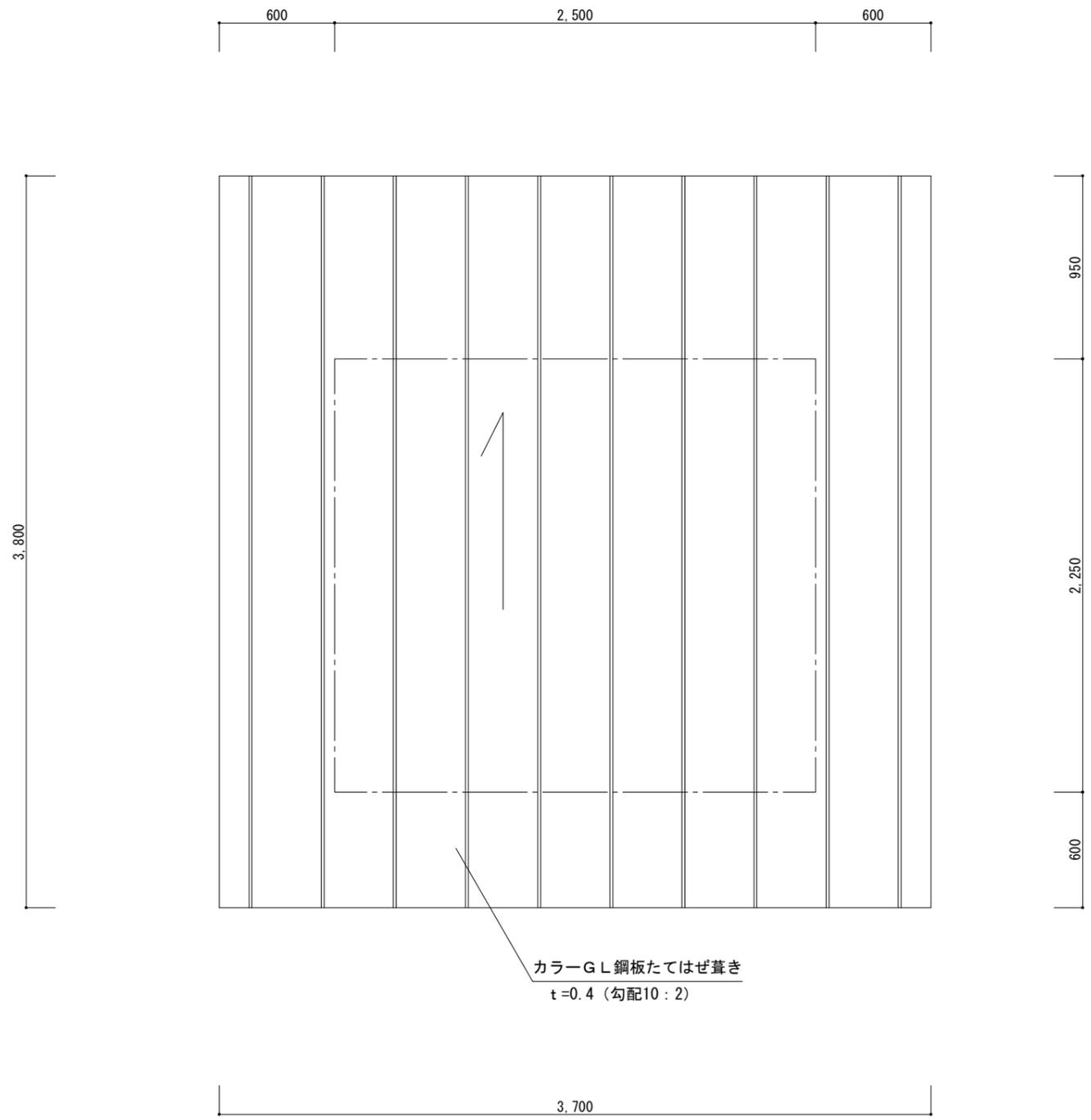
特記事項 その他
 ※ 照明器具-LED使用
 ※ 換気扇-遅れ機能付



凡例
 △ 筋違い JAS構造用合板 t=9 (特類) 壁倍率2.5
 釘の種類 N50@150以下

平面図

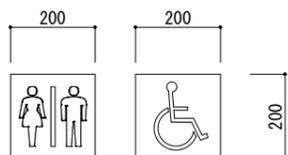
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
					1/30	平面図	09	A-4 : 71%



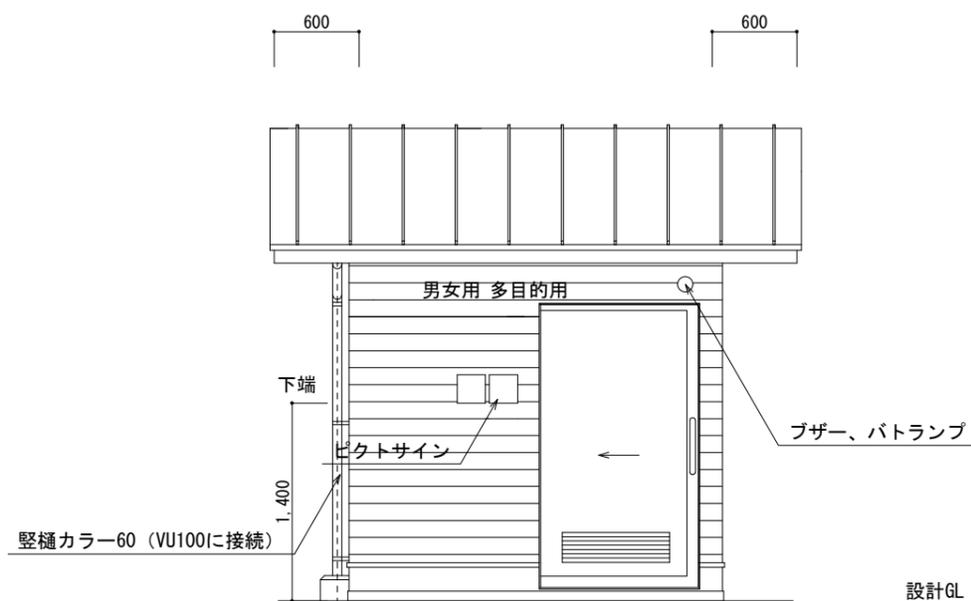
屋根伏図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						NAME	10	A-4 : 71%
						屋根伏図		

ピクトサイン
(ステンレス1.5mm)

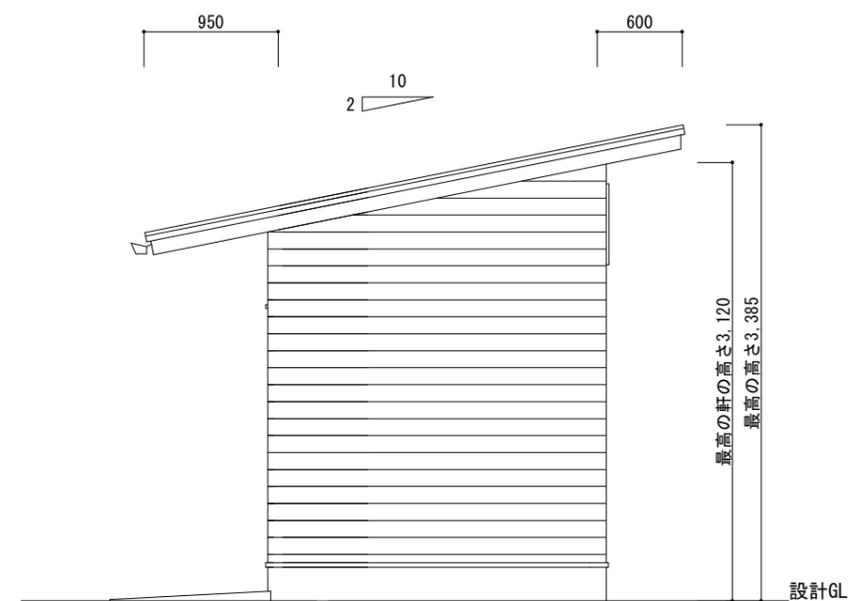


男女用 多目的用



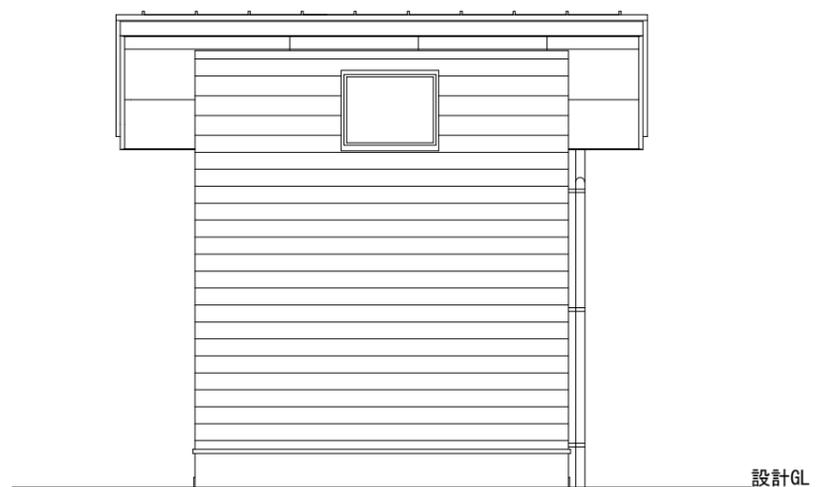
設計GL

北側立面図



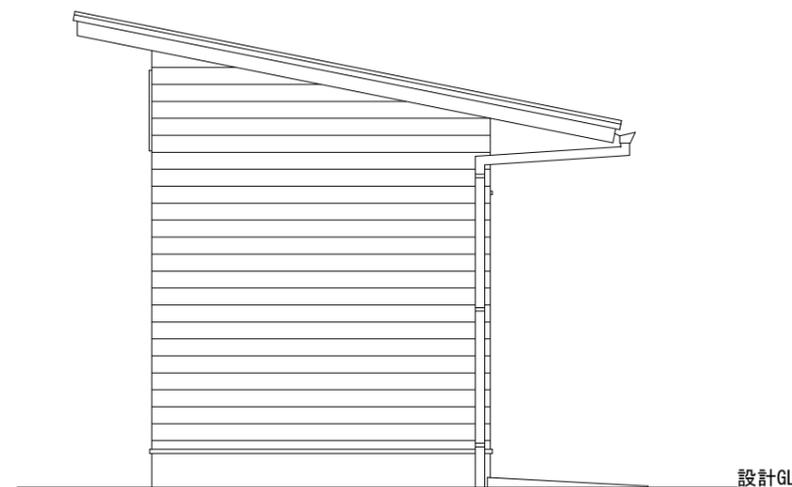
設計GL

西側立面図



設計GL

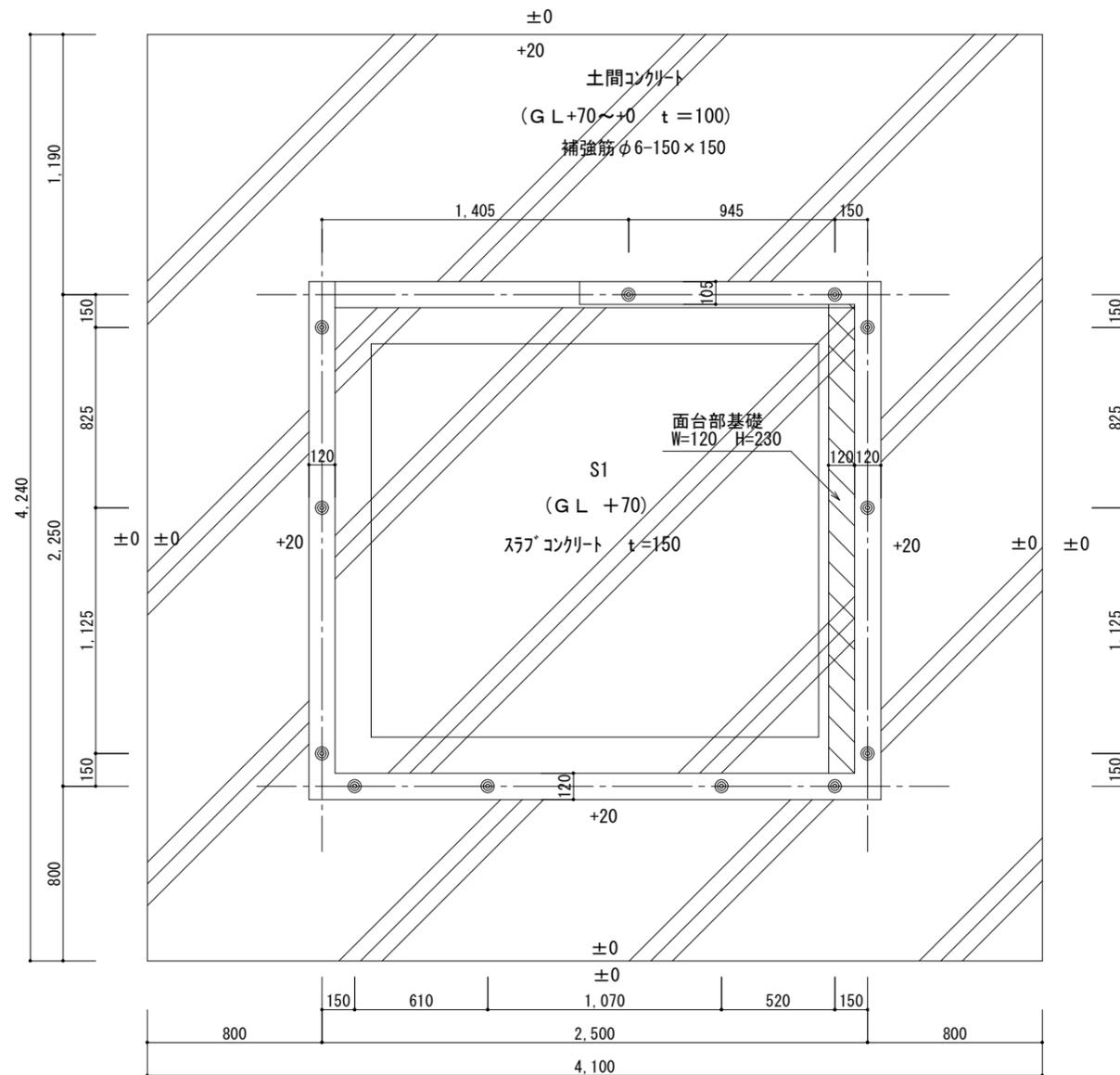
南側立面図



設計GL

東側立面図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率	
			CH.	CH.					DR.
							NAME	11	A-4 : 71%

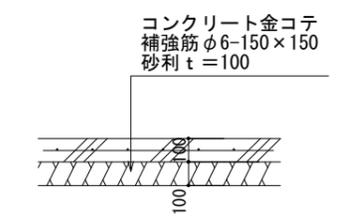


基礎伏図

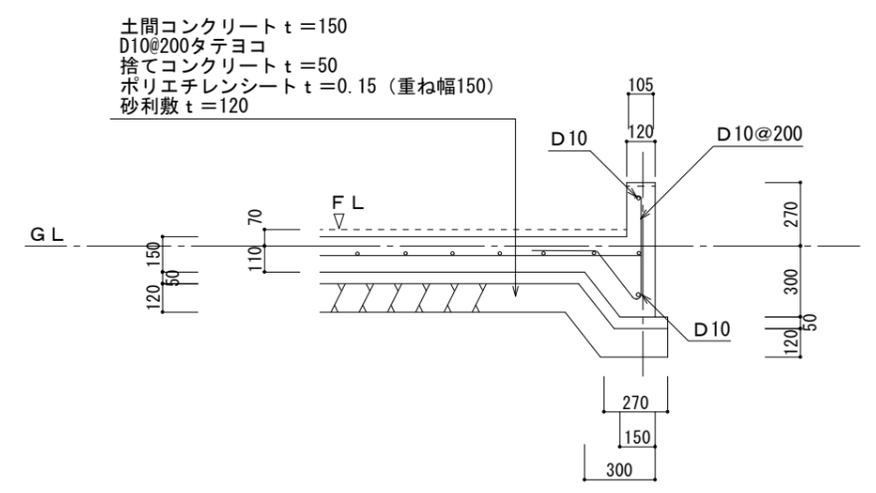
凡例

● アンカーボルトM12 L=400

記号	スラブ配筋	スラブ厚
S1	D10@200タテヨコ	t=150

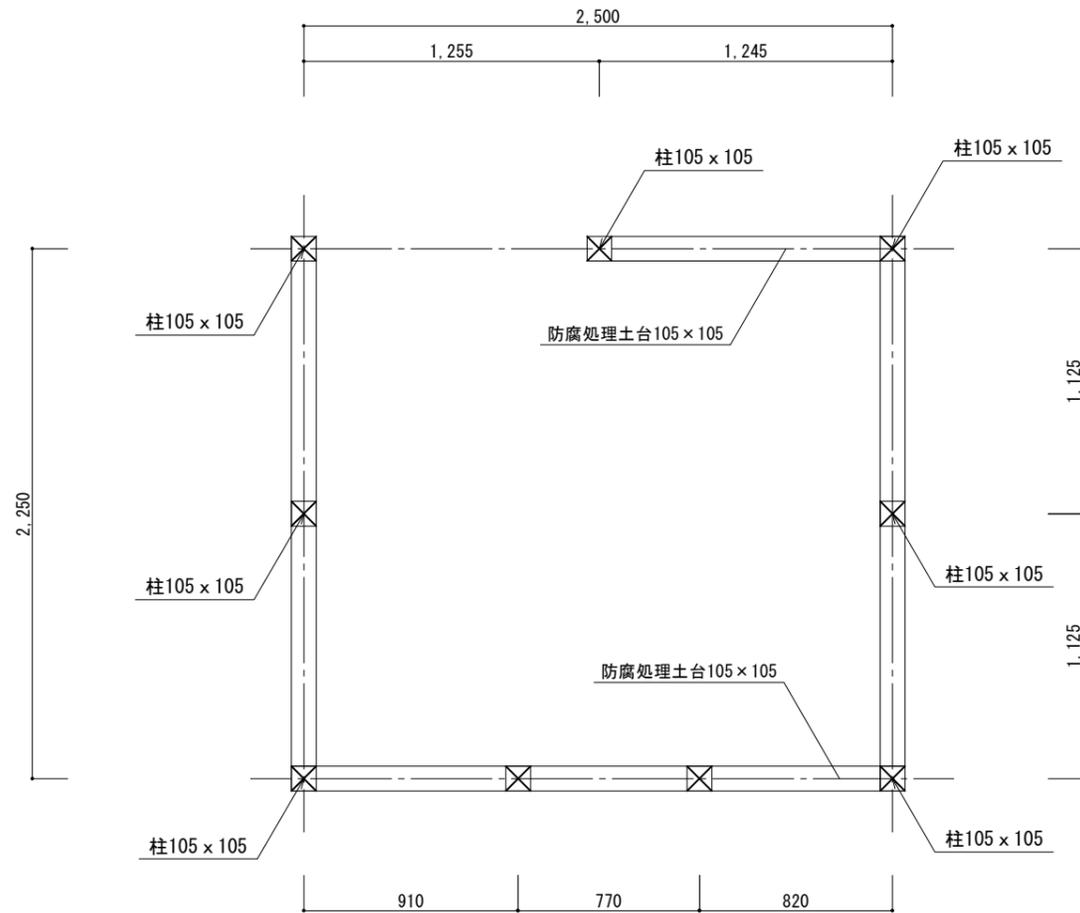


コンクリート舗装詳細図 S=1/30

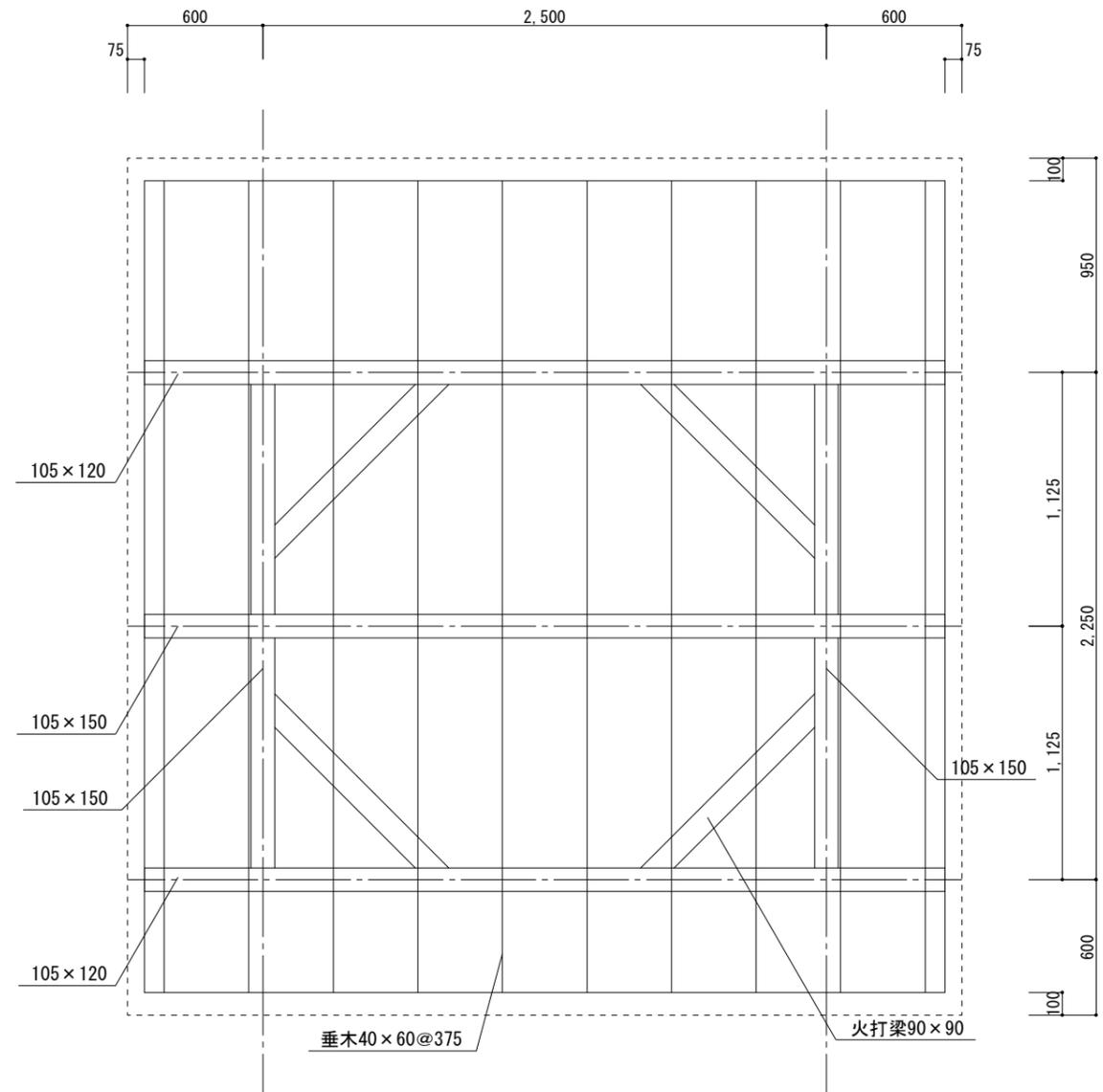


断面詳細図

- 基礎伏図について特記なき場合に限り下記による。
1. コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (温度補正6N)
 2. 鉄筋 : SD295A
 3. 基礎の位置は、外面及び柱芯振分けとする。
 4. 基礎断面は、別記とする。
 5. アンカーボルト—M12以上、L-400以上 (埋め込み長さ250以上)
埋設位置 隅角部、土台の継手部分及び土台切れ箇所
柱芯から150mm @ 1.800以内

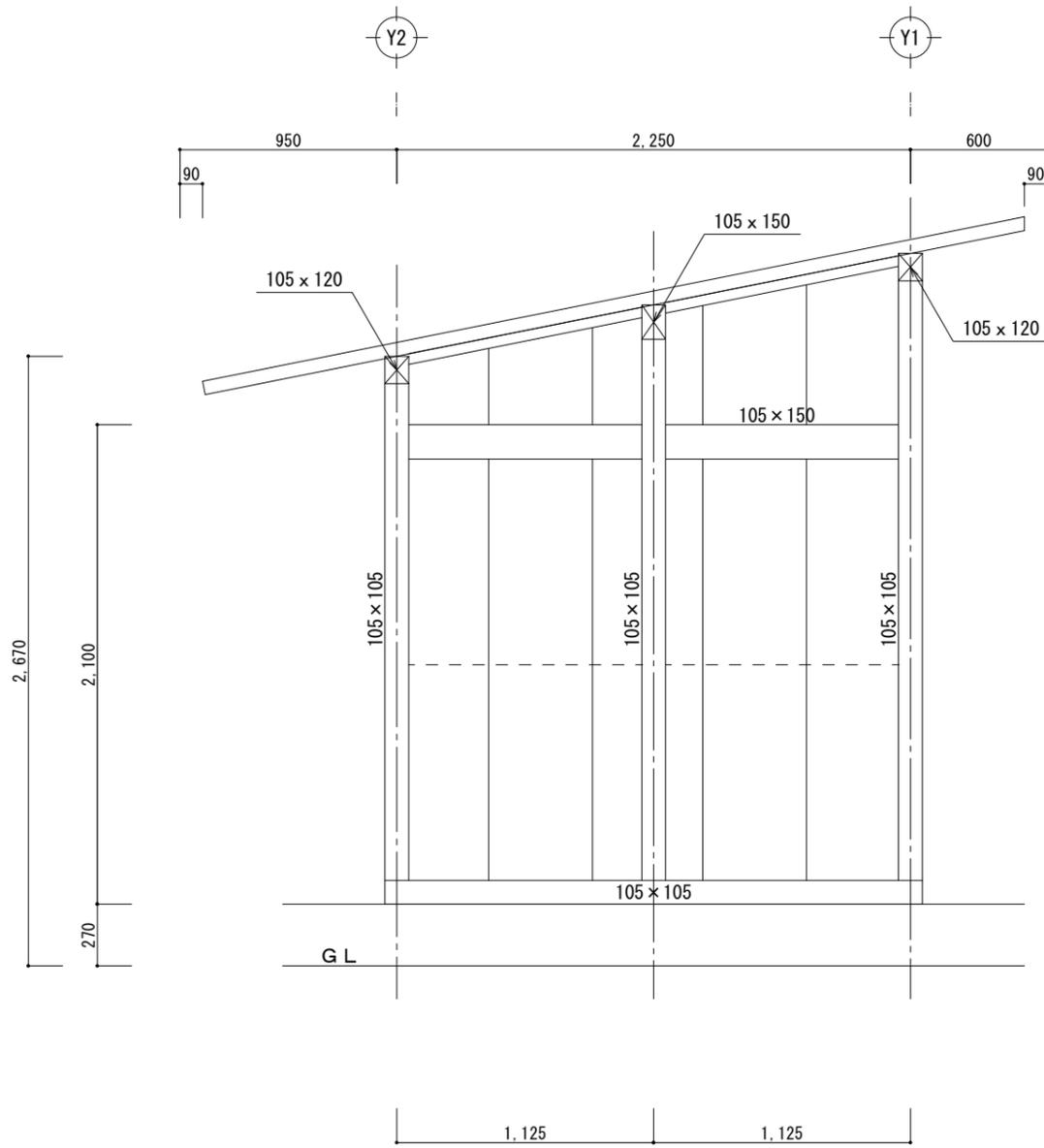


床・土台伏図

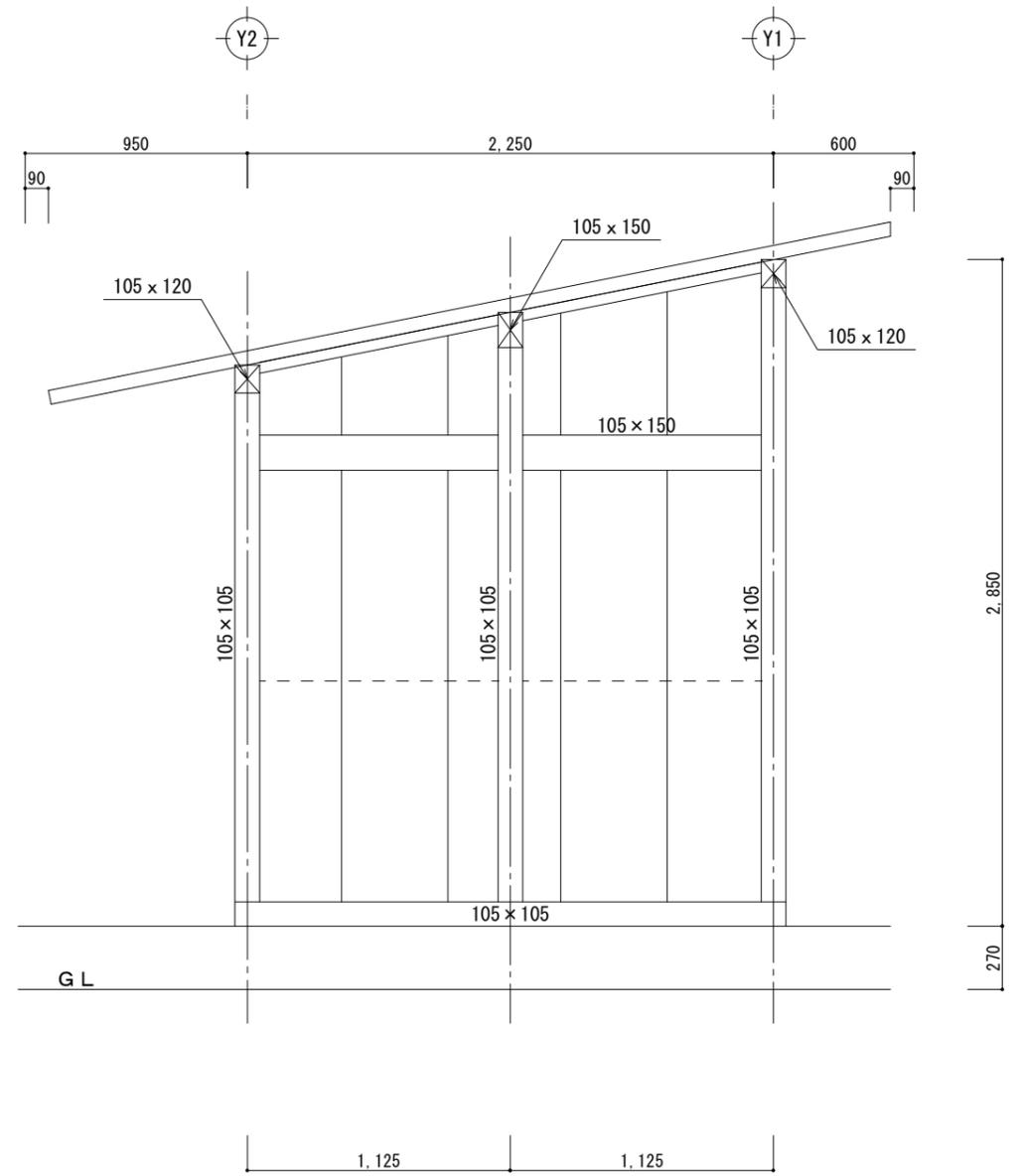


小屋伏図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.	DR.	NAME		
						青葉台第二公園トイレ更新工事 床・土台伏図、小屋伏図	14	A-3 : 100% A-4 : 71%

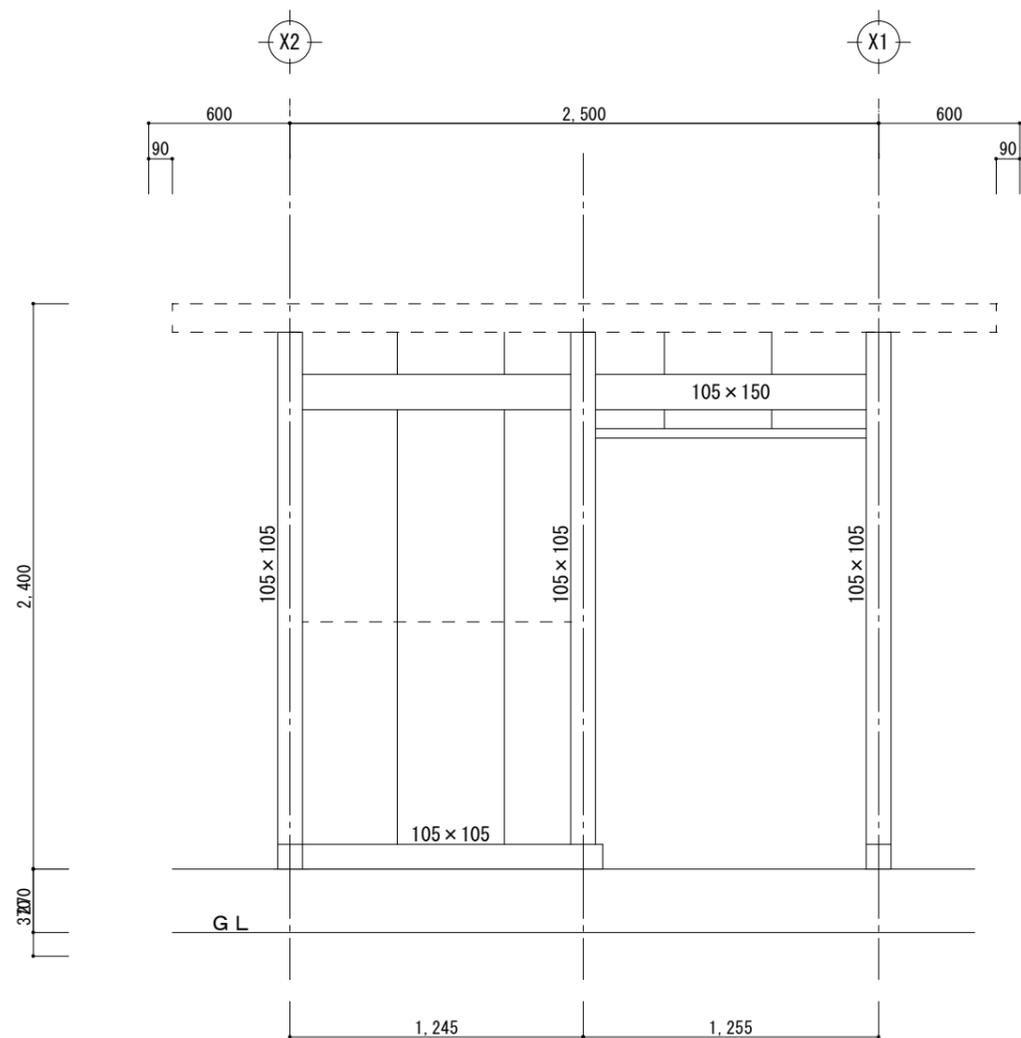


X2通り軸組図

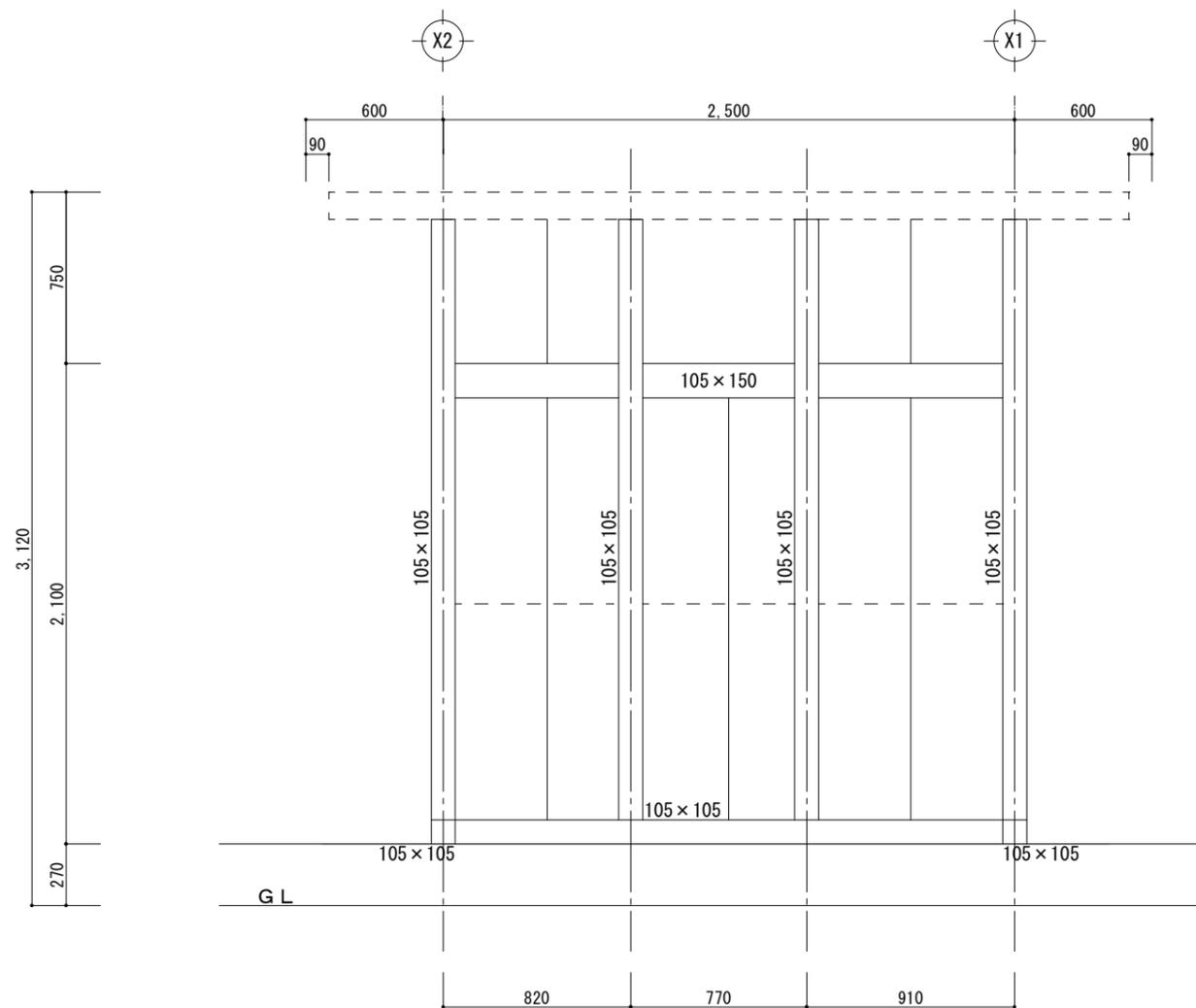


X1通り軸組図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.	DR.	1/30		
							NAME 軸組図 (X1・X2通り)	A 15

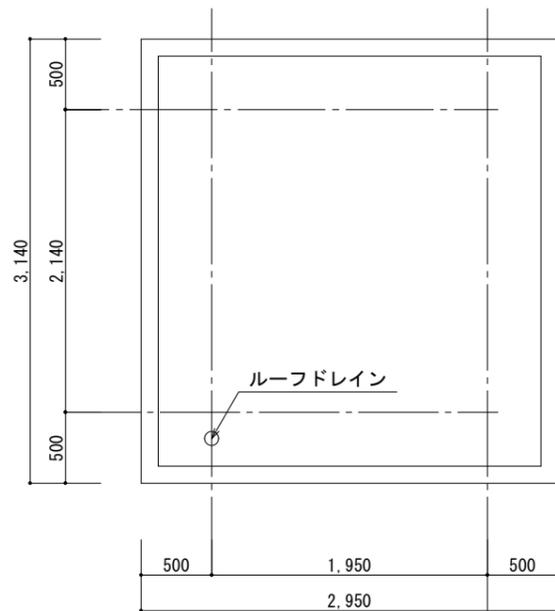


Y2通り軸組図

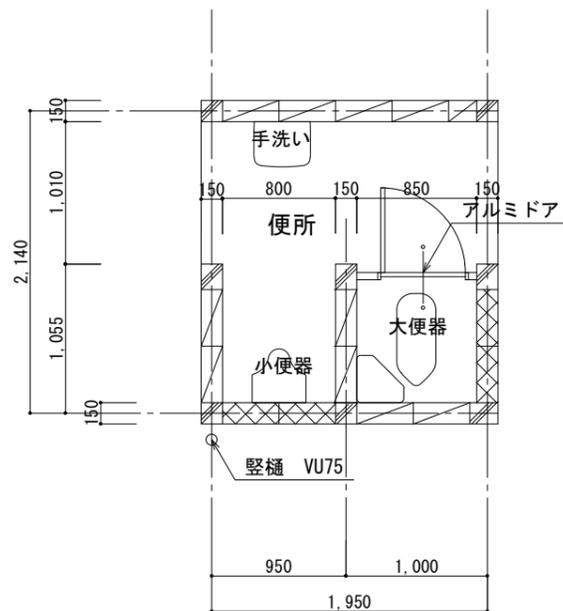


Y1通り軸組図

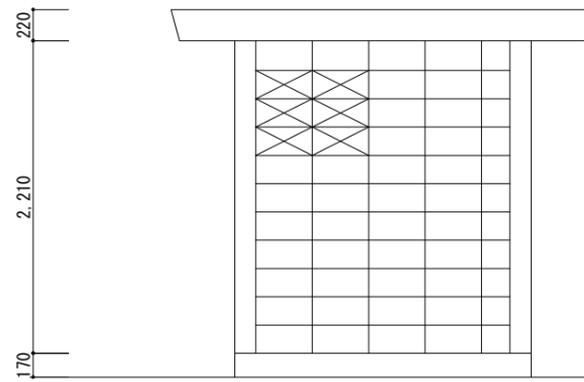
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						NAME	16	A-4 : 71%
						軸組図 (Y1・Y2通り)		



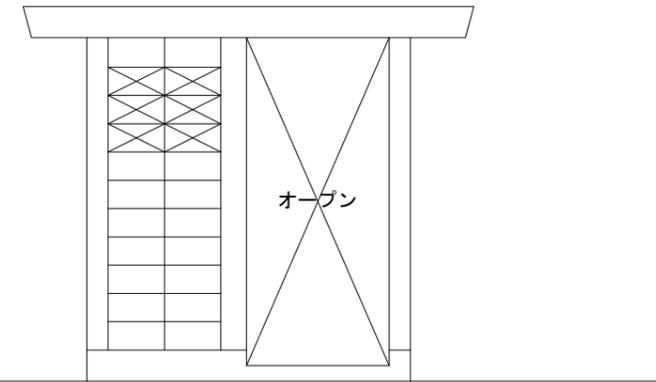
屋根伏図 S=1/50



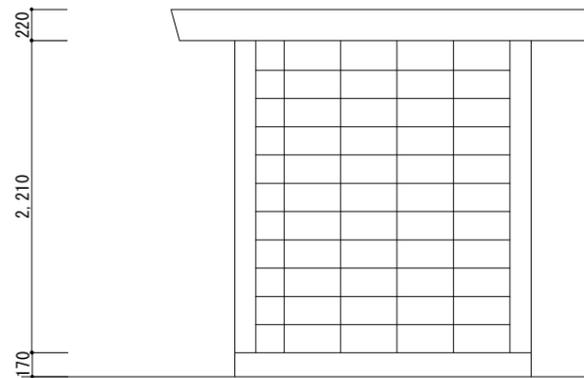
平面図 S=1/50



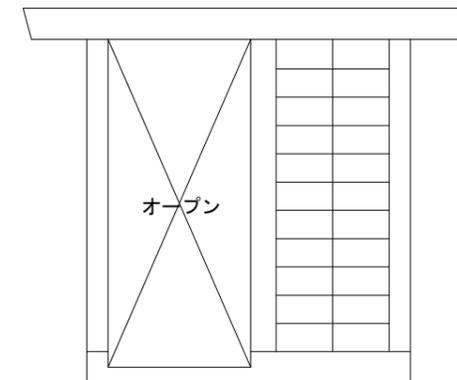
北側立面図 S=1/50



東側立面図 S=1/50



北側立面図 S=1/50

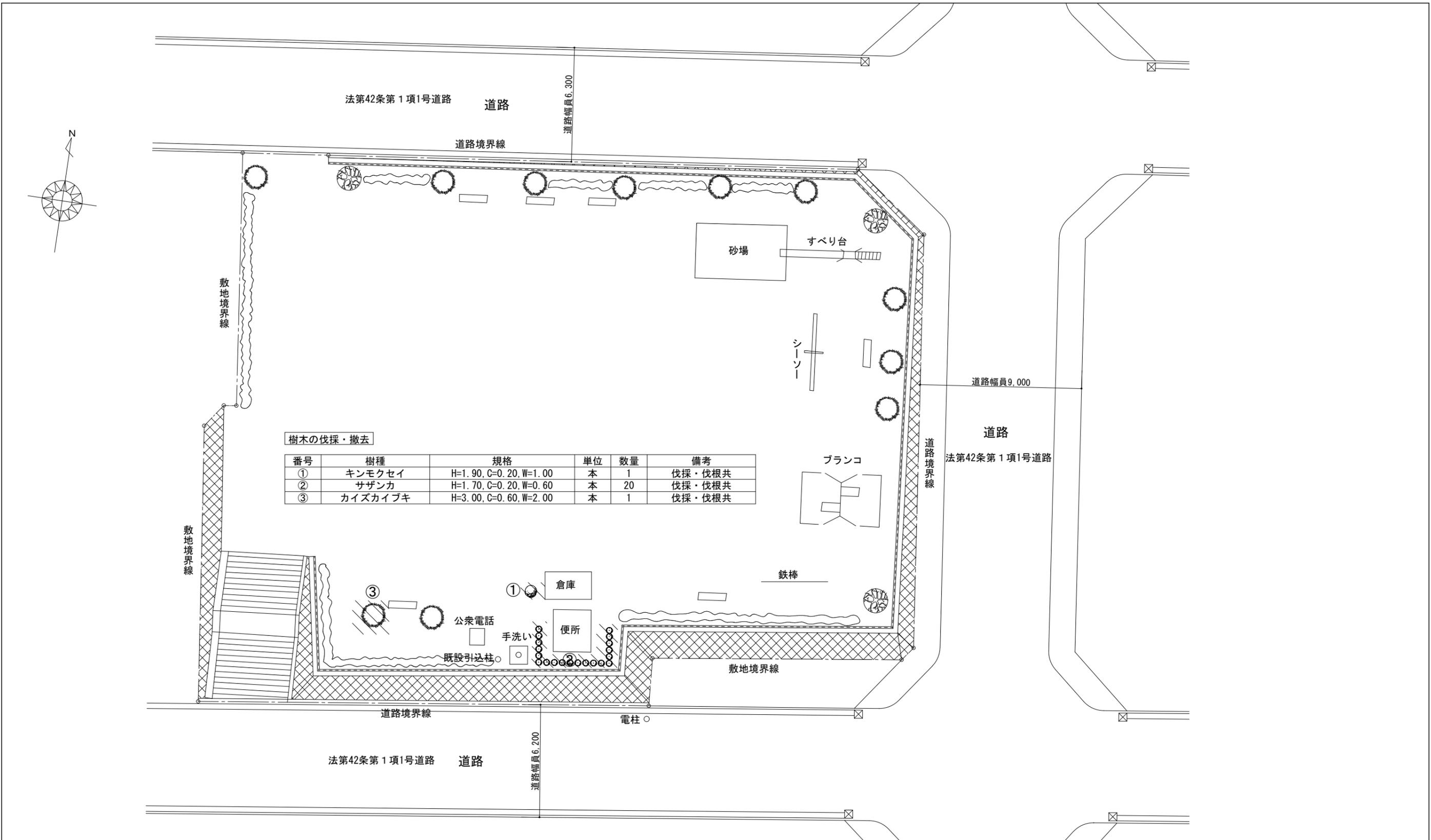


西側立面図 S=1/50

建物概要	
用途	公衆便所
構造	補強コンクリートブロック造平屋建て
基礎	布基礎
屋根	コンクリートスラブ
外壁	コンクリートブロック化粧積の上吹付（アスベスト無し）分析調査済み
内部床	コンクリート土間 t=120の上モルタル塗り
内壁	コンクリートブロック化粧積の上吹付
天井	コンクリートの上吹付
衛生設備	和風大便器（ロータンク付）、小便器、手洗い器

※既設公衆便所はすべて撤去処分のこと、解体後は真砂土にて整地のこと。

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	19 図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%
			CH.	CH.				

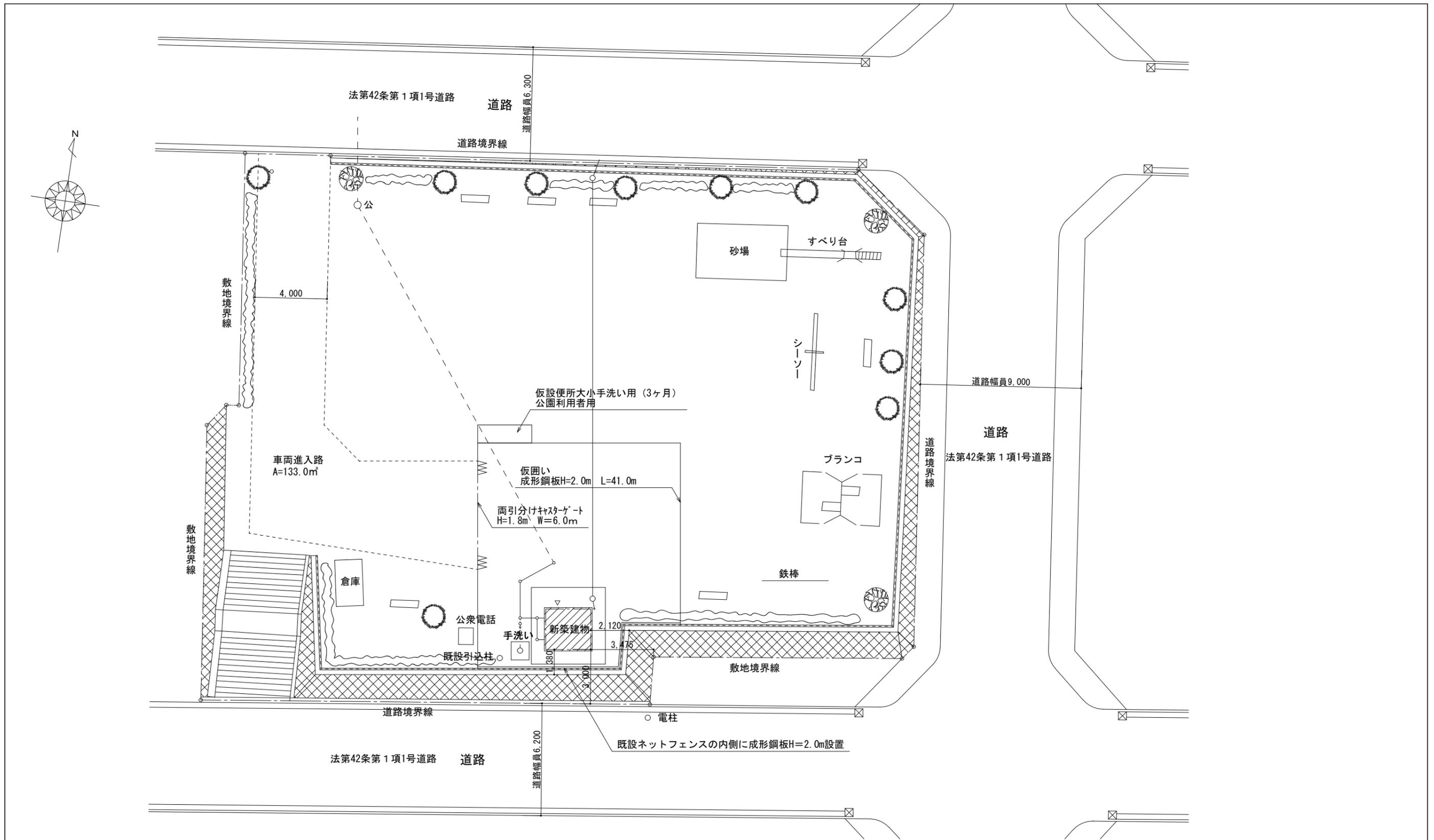


樹木の伐採・撤去

番号	樹種	規格	単位	数量	備考
①	キンモクセイ	H=1.90, C=0.20, W=1.00	本	1	伐採・伐根共
②	サザンカ	H=1.70, C=0.20, W=0.60	本	20	伐採・伐根共
③	カイズカイブキ	H=3.00, C=0.60, W=2.00	本	1	伐採・伐根共

樹木配置図 S=1/200

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						撤去図、樹木配置図	20	A-4 : 71%

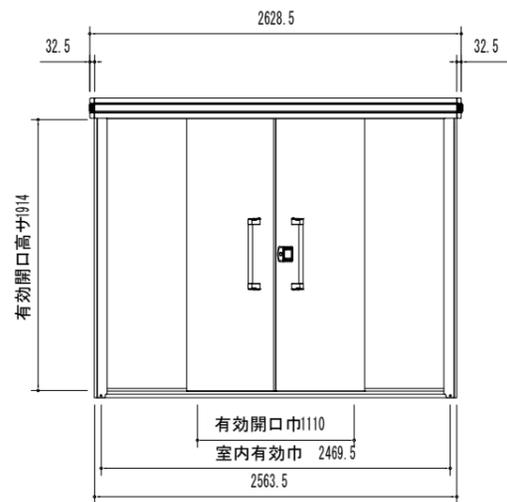


仮設計画図 S=1/200

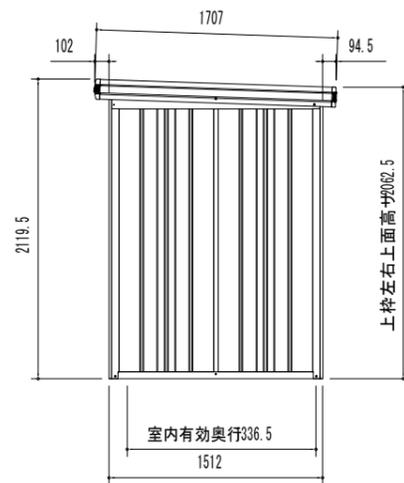
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						仮設計画図 (参考図)	21	A-4 : 71%

①倉庫図面

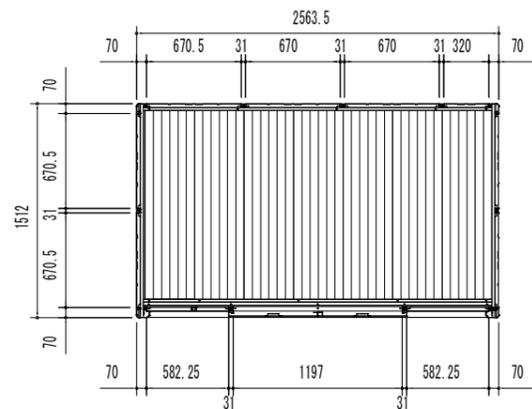
S=1/50



正面立面図 (S = 1/50)



側面立面図 (S = 1/50)



平面図 (S = 1/50)

倉庫詳細

構造	プレハブ造
部材名	材質
屋根板	鋼板
壁板	鋼板
基礎	コンクリートブロック
床面積	3.88㎡

※倉庫を指定の場所に移動のこと。

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号
岡田 建築設計事務所
 一級建築士 第102449号 岡田文夫

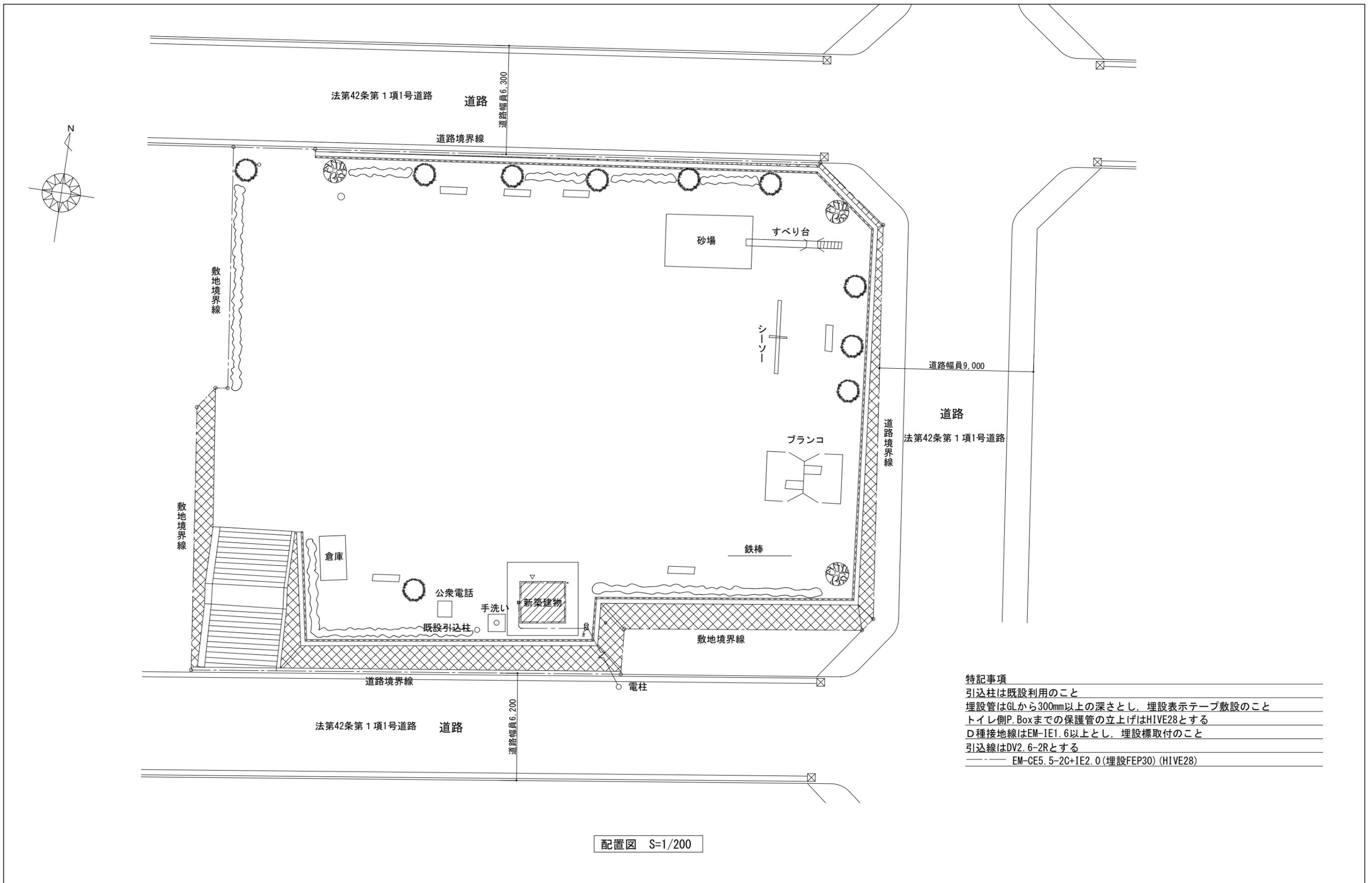
JOB NO.	DATE
	2022.03.
CH.	DR.

SCALE
1/50

TITLE
青葉台第二公園トイレ更新工事
NAME
(既設建物)建物概要、平面図、立面図

NO.
A
22

図面縮小率
A-3 : 100%
A-4 : 71%

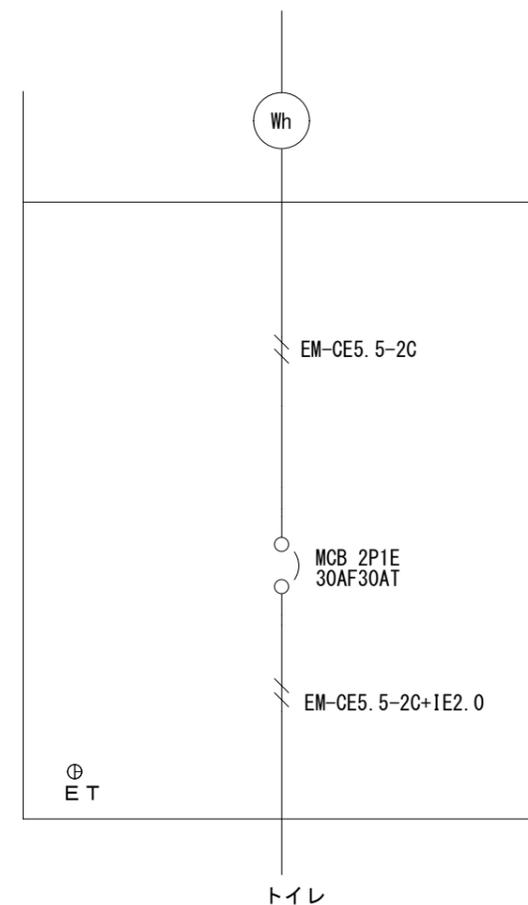
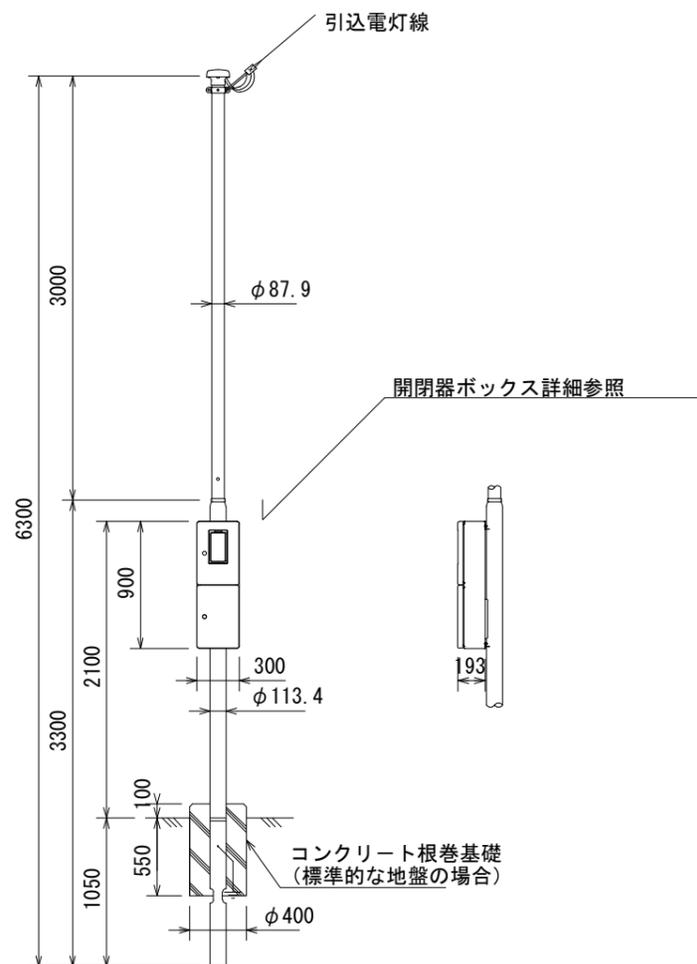


特記事項
 引込柱は既設利用のこと
 埋設管はGLから300mm以上の深さとし、埋設表示テープ敷設のこと
 トイレ側P. Boxまでの保護管の立上げはHIVE28とする
 D種接地線はEM-1E1.6以上とし、埋設標取付のこと
 引込線はDV2.6-2Rとする
 --- EM-CE5. 5-2C+1E2. 0 (埋設FEP30) (HIVE28)

配置図 S=1/200

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. E / 01	図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%	
			CH.	CH.	DR.	1/200			青葉台第二公園トイレ更新工事
									(電気設備) 配置図

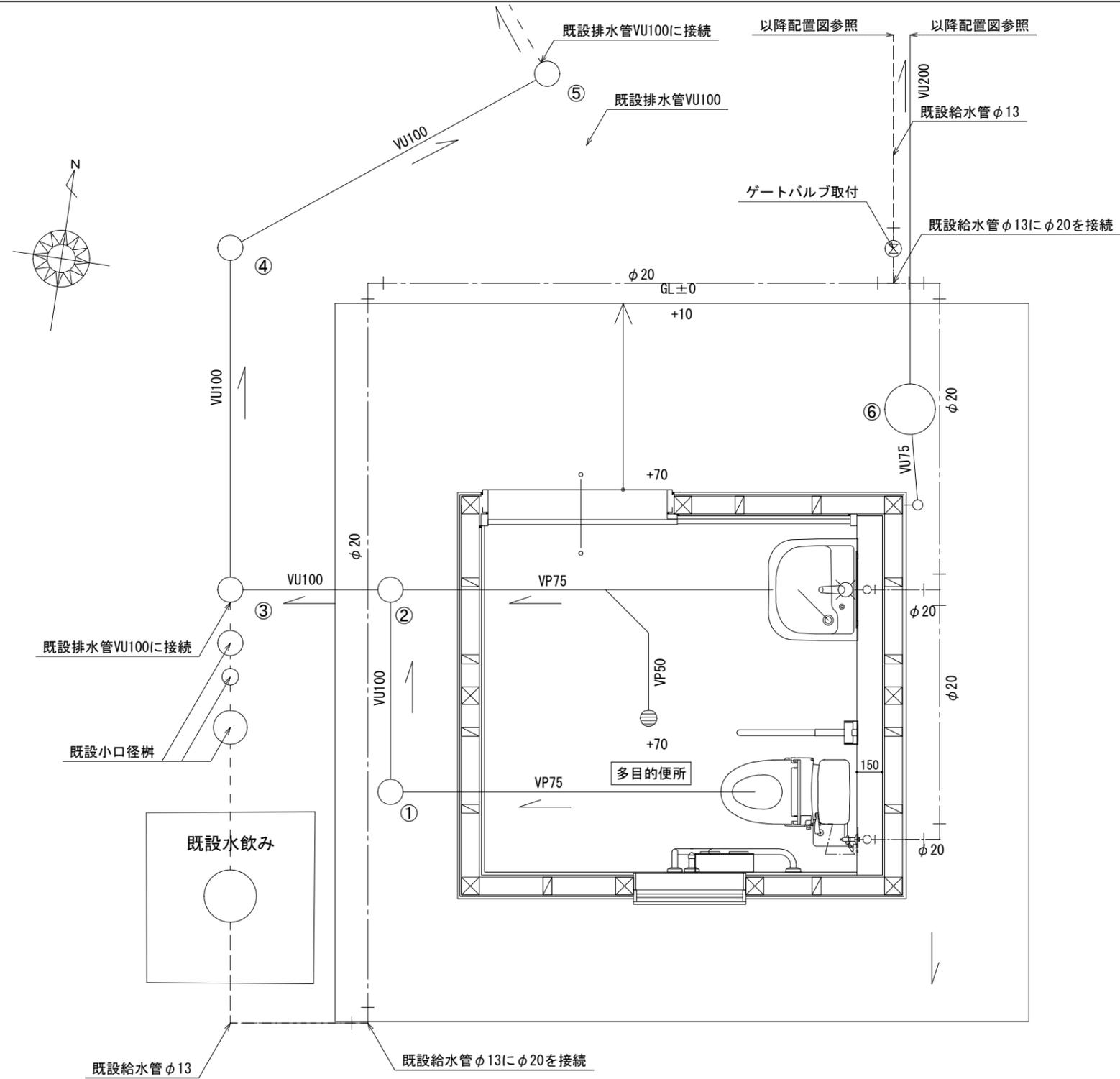
スッキリポール・ボックス付 (電灯線 14mm² 用)



用途	電灯	
全長	6.3m	
表面処理	ポール本体	フローコート溶融亜鉛めっき後ポリエチレン樹脂被覆
	ボックス	溶融亜鉛めっき鋼板にポリエステル粉体塗装
色調	アイボリー又はコーヒープラウン	
実用最大引き込み径間 (丙種風圧荷重)	2.3m以下	電灯 (DV14mm ² ×3)

パナソニック(株) XDTA0163W(A) 相当品

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE 2022.03.	SCALE 1/50	TITLE 青葉台第二公園トイレ更新工事 NAME (電気設備) 引込柱、分電盤詳細図	NO. E 03	図面縮小率 A-3 : 100% A-4 : 71%
------	------	---	---------	------------------	---------------	--	----------------	----------------------------------



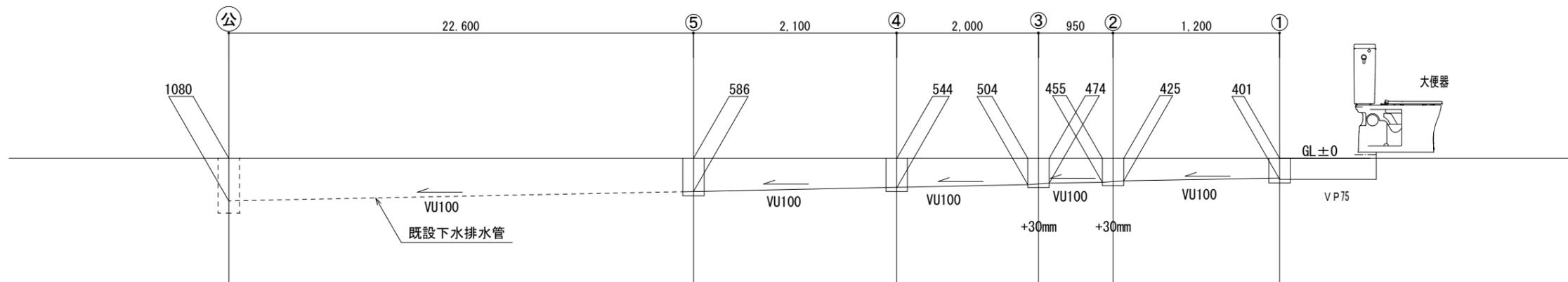
平面図

- 特記事項**
- 給水管は耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) とする
 - 給水管の埋設深さは構内はGL-300mm場外 (車両通路) GL-600とする
 - 給水管埋戻し時、土被り150mm程度の深さに埋設表示用アルミテープを埋設すること
 - 排水管は硬質ポリ塩化ビニル管 (VU・VP) とする
 - 保温は、C2・(口)・VIIとする
 - 発生土は場外処分とする
 - 給水管
 - 排水管
 - - - - - 既設管
 - 点線は既設配管を表す

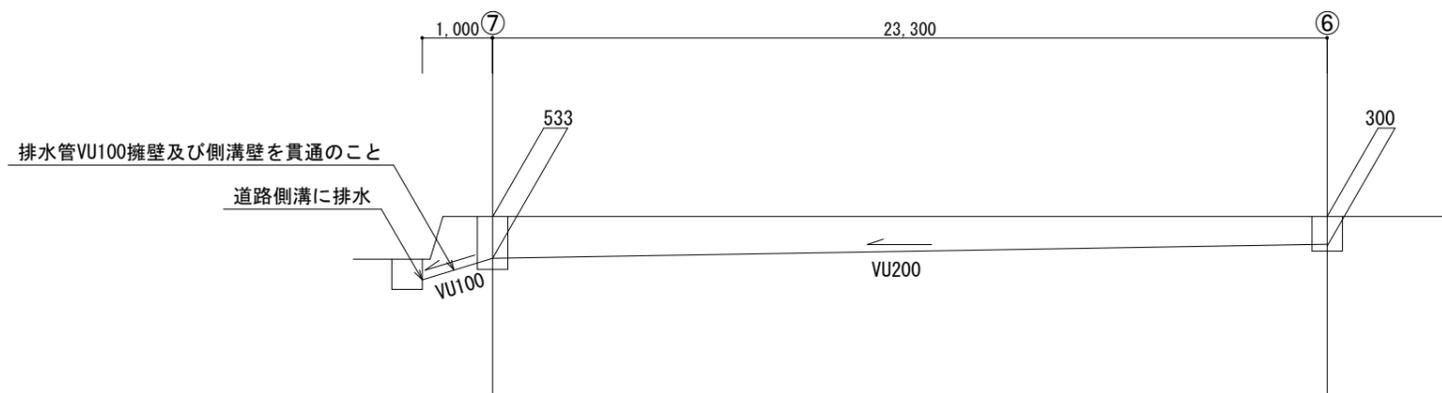
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17 (1) 0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						NAME	02	A-4 : 71%
						(機械設備) 平面図		

樹リスト

記号	名称	樹種別	蓋	特記事項
1	小口径樹	SD100-150	100-H	インバート樹①100-150-401
2	小口径樹	SD100-150	100-H	インバート樹②100-150-455
3	小口径樹	SD100-150	100-H	インバート樹③100-150-504
4	小口径樹	SD100-150	100-H	インバート樹④100-150-544
5	小口径樹	SD100-150	100-H	インバート樹⑤100-150-586
6	排水溜樹	AM300	100-H	排水溜樹φ300-200-300
7	排水溜樹	AM300	100-H	排水溜樹φ300-200-533



勾配図 S= no. scale



- 特記事項
- 給水管は耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)とする
 - 給水管の埋設深さは場内はGL-300mm場外(車両通路)GL-600mmとする
 - 排水管, 雨水管は水道用硬質ポリ塩化ビニル管(VU)とする
 - 保温は, C2・(口)・Ⅶとする
 - 給水管埋戻し時, 土被り150mm程度の深さに埋設表示用アルミテープを埋設すること
 - 雨水管の勾配は1/100とする
 - 発生土は場内敷きならすこと
 - 排水管の勾配は2/100とする

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	CH.				
						NAME	03	A-3 : 100%
						(機械設備) 勾配図		A-4 : 71%

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事 細目別内訳

青葉台第二公園		基礎工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
根切り	バックホウ	7.7	m3			
埋戻し	バックホウ 0.28m ³ 購入土	3.4	m3			
発生土処分	L=12km以内DT2t車	2.9	m3			
基礎砕石 t100	RC-40	1.9	m3			
捨てコンクリート打設	0.1m ²	1	式			
捨てコンクリート	空積割増 2m ³ 以下	1	車			
捨てコンクリート型枠	H=50mm 運搬共	16.6	m3			
防湿シート敷き		6	m ²			
型枠くみ		8	m ²			
鉄筋加工・組立・運搬	SD295A D10材工	66	kg			
アンカーボルトセット	M-16 L=400	12	本			
コンクリート打設	FC-24N/mm ² +6N	1.9	m3			
基礎コンクリート	空積割増 2m ³ 以下	1	車			
天端レベラー		8.4	m3			
土間コンクリート打設	t=120	3	m3			

建築工事 細目別内訳

青葉台第二公園		木工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構造材	土台米松、桁類米松105巾、柱桧105角、端柄材	1	式			
化粧材、杉材	窓枠、見切り、廻り縁、広小舞	1	式			
構造用合板	屋根t=12	12	枚			
構造用合板	屋根t=9 910×3030	13	枚			
工場加工費		5.6	m ²			
同上運搬費		1	式			
桧羽目板	UV塗装品、内装用t=12*1920*105	5	束			
天井化粧ケイカル板貼	t=12	5.6	m ²			
耐水合板	羽目板下地、壁タイル下地 t=12	15	枚			
大工手間	面台部含む	5.6	m ²			
金物	接合金物、ビス、接着剤	5.6	m ²			
計						

青葉台第二公園		金物工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根						
タテハ葺き	カラーガルバリウム鋼板 0.4mm	14.3	m ²			
改質アスファルトルーフィング		14.3	m ²			
唐草水切り（四方）	屋根同材	15.1	m			
軒樋	角樋（落ち葉止め：アルミメッシュ共）	3.7	m			
軒樋受け金物	メッキ品	7	か所			
落し口	集水器	1	か所			
縦樋	60φ	5.3	m			
エルボ		2	か所			
縦樋支持金物		3	か所			
ピクトサイン（平付型）	200×200 ステンレスSK-621S S-2F	2	か所			
計						

電気設備工事 細目別内訳

青葉台第二公園		電気設備工事			科目		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
照明器具	AH50657	2	台				
分電盤	BQWB82342	1	面				
換気扇	FY-08PDL9D	1	個				
フード	FY-MF043	1	個				
自動点滅器	WTK2604 (取付費含む)	1	個				
非常用回転灯	EA5501	1	個				
非常押しボタン	EK50	1	個				
操作ユニット	WTC58207W	1	個				
プルボックス	150□*100 (SUS)	1	個				
EM-EEFケーブル	2-3C管内	22	m				
EM-EEFケーブル	2-2C管内	8	m				
EM-EEFケーブル	1.6-2C管内	18	m				
ケーブル	EM-CE5.5-2C	13	m				
ケーブル	IE20	15	m				
電線管	FEP30	7	m				

電気設備工事 細目別内訳

青葉台第二公園		電気設備工事			科目	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線管	HIVE28	4	m			
電線管	HIVE 22	26	m			
電線管	HIVE 16	18	m			
同上付属品		1	式			
異種管接続材	30-28	2	個			
埋設シート	ダブル	7	m			
設置埋設標	ED	1	個			
スッキリポール	開閉器込み	1	セット			
建柱費		1	式			
土工費		1	式			
支持材		1	式			
雑材消耗品		1	式			
中電申請費		1	式			
電工労務費		1	式			
計						

機械設備工事 細目別内訳

青葉台第二公園		衛生器具設備工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
車いす対応防露便器	BC-220SK, DT-K250ML	1	組			
普通便座	CF-49AT	1	組			
棚付ワンタッチ式2連紙巻器	CF-63HS	1	組			
多用途手摺 (L型タイプ)	KF-923AE70J, KF-D25	1	組			
跳ね上げ手すり	KF-471EH70J, KFD-21	1	組			
車いす対応洗面器	L365APR, LF503, LF-3VK, LF-97PA, KF3ODN, SF-10E	1	組			
防錆化粧鏡 (盗難防止タイプ)	KF-4560AE	1	式			
共用カップリング付き横水栓	LF-15G-13-CV	1	個			
試運転調整費		1	式			
運搬費		1	式			
計						

青葉台第二公園		排水設備工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニール管	VU-200 地中配管	23.3	m			
硬質塩化ビニール管	VU-100 地中配管	7.3	m			
硬質塩化ビニール管	VP-75 地中	5	m			
硬質塩化ビニール管	VP-50 地中	3	m			
①小口径インバート桝	100-150-401	1	組			
②小口径インバート桝	100-150-455	1	組			
③小口径インバート桝	100-150-504	1	組			
④小口径インバート桝	100-150-544	1	組			
⑤小口径インバート桝	100-150-586	1	組			
⑥排水タメマス	φ 300-200-300	1	組			
⑦排水タメマス	φ 300-200-533	1	組			
床上排水金物	KT5-50	1	組			
床堀・埋戻し		41	m			
スリーブ入れ・補修		2	か所			
側溝削孔補修	φ 150	1	か所			

